

## 第 5 章 教 育

### 1 学 校 教 育

#### (1) 教 育 内 容

##### ア 学 習 指 導

第 2 次世界大戦後民主主義教育の理念にそつて、教師中心の教育から、児童・生徒中心の方向に大きく転換し、自発性、自主性、生活経験等が尊重され、学習形態として単元学習、グループ学習、問題解決学習が重視された。

このような方向に対して、教師の研究が不十分であり、さらに経験や準備の不足等によって、時間や労力を空費し、学習が不徹底になり、基礎学力は戦前と比較して、二年程度低下したようである。

しかし、だんだん社会も安定し、科学技術の向上、急速な経済成長にともなつて、国際競争力を高めるためには、人間の能力を開発し、人材育成が第一であるとの観点から、基礎学力が強くさげられるようになった。学習指導法について反省がなされ、系統的学習が重視され、ドリルが尊重されるようになった。

特に久万町では町内に上浮穴高等学校を持つているのみでなく、松山市にも近い関係にあるため進学率が合併後急速に高まつた。父母の教育に対しての期待は大きく、学力向上に対しての町民の関心もだんだん高まつてきた。

文部省としても、基礎学力に対しての社会の要望に答えて、昭和 36 年より全国学力テストを実施することにした。

久万町では、合併後教育体制も整い、文部省が全国的に学力テストを実施するより以前に自主的に町内一斉テストを実施し、各校の学力を客観的に把握して、その向上に努力した。

そのために、文部省全国学力テストでは、好成績を上げることができた。久万町内小中学校の学力は全県的にも高いレベルにある。

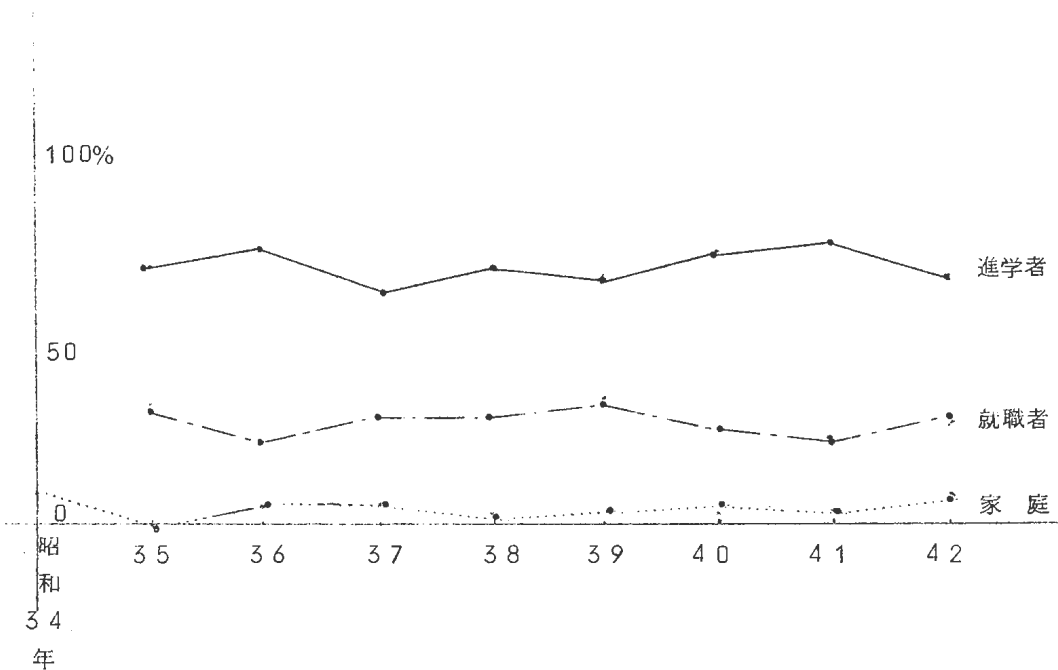
町内の教師は授業日はもちろん、休業中にも補習授業を実施するなどして、父母の期待に答えるために努力している。

昭和 41 年より文部省全国学力テストは中止されたが、久万町では松山市で実施している一斉テストの問題を使用して、松山市と同日に一斉テストを実施し、各校の学力実態を客観的に評価して、学習指導の徹底を期している。

現代は、学力の高度安定化を図るために児童、生徒の自発性を尊重し、求める心を旺盛にすることが重要であるとの観点から、自主創造の教育を基本目標として努力している。久万町内中学校における、進学、就職、家事、従事者の進路状況は次の通りである。

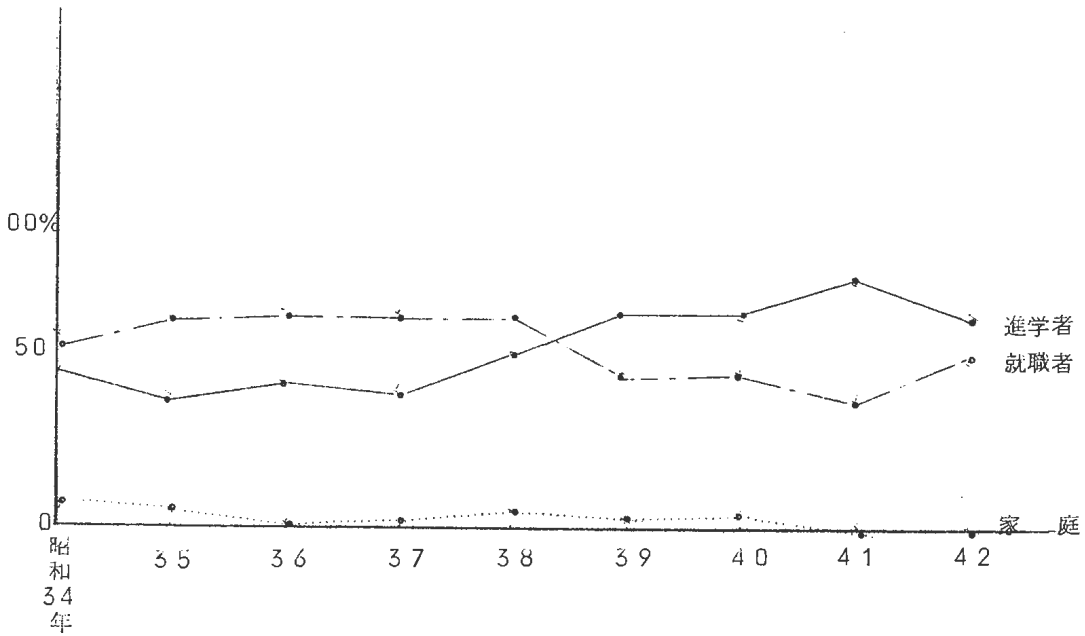
第 1 表 久万中学校進路一覽

年 度	卒 業 生 数	進 学 者		就 職 者		家 庭	
		人 数	%	人 数	%	人 数	%
昭和34年	156	97	62.2	46	29.5	13	8.3
35	137	94	68.6	43	31.4	0	0
36	191	138	72.3	43	22.5	10	5.2
37	189	123	65.1	56	29.6	10	5.2
38	210	143	68.1	62	29.5	5	2.3
39	197	131	66.5	63	32.0	3	1.5
40	193	138	71.5	51	26.4	4	2.1
41	168	123	73.2	40	23.8	5	2.9
42	164	107	65.2	44	26.9	13	7.9



第 2 表  
畑野川中学校進路一覽

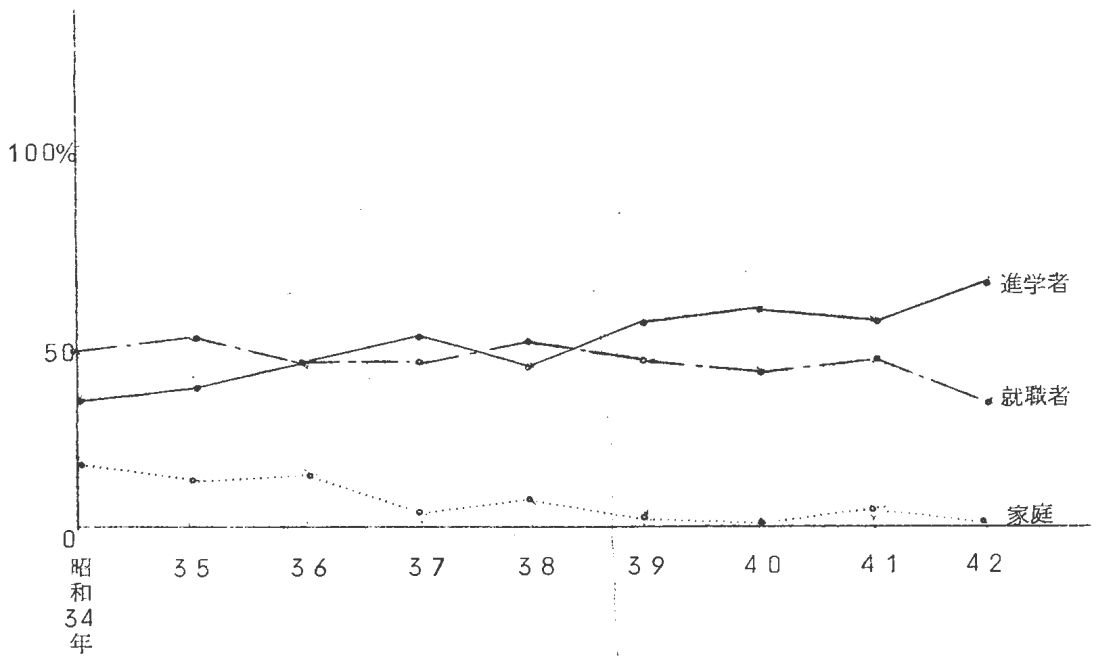
年 度	卒 業 生 数	進 学 者		就 職 者		家 庭	
		人 数	%	人 数	%	人 数	%
昭和34年	53	22	41.5	27	50.9	4	7.6
35	35	13	37.1	20	57.1	2	5.8
36	58	23	39.7	34	58.6	1	1.7
37	74	29	39.2	43	58.1	2	2.7
38	69	33	47.8	33	47.8	3	4.4
39	67	39	58.2	27	40.3	1	1.5
40	74	42	56.8	30	40.5	2	2.7
41	58	38	65.5	20	34.5	0	0
42	58	33	56.9	25	43.1	0	0



第 3 表

直瀬中学校進路一覽

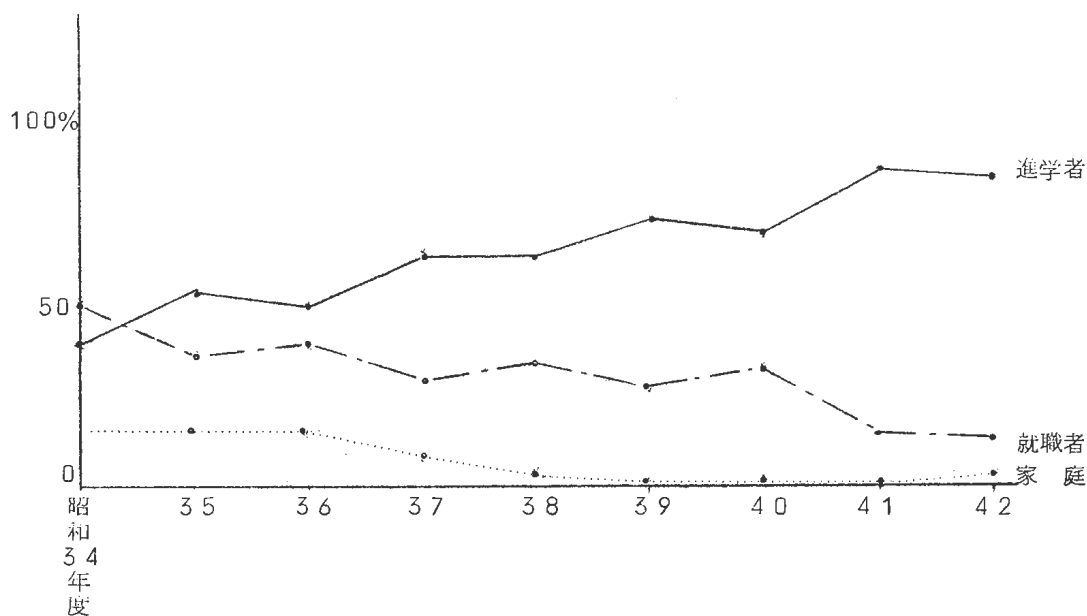
年 度	卒 業 生 数	進 学 者		就 職 者		家 庭	
		人 数	%	人 数	%	人 数	%
昭和34年	55	19	34.5	26	47.3	10	18.2
35	40	16	40.0	20	50.0	4	10.2
36	57	24	42.1	24	42.1	9	15.8
37	68	34	50.0	30	44.1	4	5.9
38	85	37	43.5	42	49.1	6	7.1
39	75	39	52.0	33	44.0	3	4.0
40	76	43	56.6	32	42.1	1	1.3
41	79	44	55.7	34	43.0	1	1.3
42	56	37	66.1	19	33.9	0	0



第 4 表

父二峰中学校進路一覽

年 度	卒 業 生 数	進 学 者		就 職 者		家 庭	
		人 数	%	人 数	%	人 数	%
昭和34年	55	21	38.2	27	49.1	7	12.7
35	43	22	51.2	16	37.2	5	11.6
36	84	41	48.8	32	38.1	11	13.1
37	94	42	42.7	20	29.9	5	7.4
38	94	58	61.8	32	34.0	4	4.2
39	68	48	70.6	18	26.5	2	2.9
40	60	40	66.7	19	31.7	1	1.6
41	66	57	86.4	9	15.6	0	0
42	55	46	83.6	7	12.8	2	3.6



イ 道徳教育

戦後、道徳教育を全教育課程の中で行なうと共に、特に新教科として生れた社会科の中で行なうこととなった

しかし、戦後国民の道徳生活の混乱ははなはだしく、学校における道徳教育にも一貫性に欠けた点が多く、極めて不徹底であった。

昭和33年8月より新に道徳教育のための時間を週1時間特設して、その徹底に努力することになった。その後道徳教育資料集、生活指導の手引き等を発行して指導の徹底を期し

ている。

久万町も、国道33号線の改修によつて松山市との交通もたいへん便利になり、そのために久万町の都市化現象も多く現われ、児童、生徒の道徳教育、生活指導を更に強化する必要が強くなつてきた。

そのためには、学校教育、家庭教育、社会教育が一貫した方針のもとになされなければならない。学校、学庭、社会が一体となつて努力しなくては其の徹底は不可能である。

第5表 久万町刑法犯発生状況 (郡内状況と)

年地域		殺 人	強 盗	強 姦	暴 行	傷 害
S 3 4 年	久 万 町	1			1 7	1 4
	郡	2	1	7	3 9	3 6
3 5	久 万 町				1 6	7
	郡	1		2	4 3	5 3
3 6	久 万 町				1 2	1 5
	郡	1		1	2 7	3 4
3 7	久 万 町			1	3	7
	郡		1	1	6	1 3
3 8	久 万 町				3	9
	郡	1	1	1	1 1	1 7
3 9	久 万 町			1	1 1	1 2
	郡	1		2	1 4	1 8
4 0	久 万 町	1		1	5	7
	郡	2		3	1 3	1 9
4 1	久 万 町				1 2	6
	郡				1 2	1 8
4 2	久 万 町				2	1 0
	郡	2		2	9	1 3
4 3	久 万 町					3
	郡				1	3

注 昭和43年分は6月迄計上す

( ) 中は検挙を示す

昭和45年度より総合教育計画を立て、総合教育推進協議会を中心として町ぐるみで社会道德の昂揚に努力することとなつた。

合併後久万町の非行状況は次の通りである。

比較) 自 昭和34年  
至 昭和43年 各年毎計上

脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	横領	その他刑法犯	計
2	5	( 261 255 )	9	2	19	( 330 327 )
10	29	( 401 371 )	18	7	45	( 595 565 )
2	4	( 144 122 )	9	1	27	( 210 188 )
13	9	( 298 256 )	23	7	64	( 513 471 )
5	3	( 218 205 )	12	3	28	( 293 280 )
	7	( 342 309 )	40	5	60	( 522 489 )
	4	( 111 97 )	26	5	15	( 172 158 )
	7	( 271 231 )	38	7	41	( 385 344 )
	4	( 56 43 )	6		15	( 93 79 )
	5	( 102 84 )	6	1	32	( 177 158 )
2	9	( 96 97 )	3	1	24	( 159 161 )
3	11	( 128 173 )	4	1	58	( 290 286 )
1	2	( 41 32 )	10		24	( 92 83 )
1	2	( 71 55 )	16		54	( 181 165 )
	1	( 48 42 )	1	1	23	( 92 86 )
	3	( 99 75 )	2	2	62	( 198 175 )
		( 36 19 )	5	1	30	( 84 67 )
2	2	( 72 53 )	7	1	66	( 176 156 )
	13	( 16 13 )	3		16	( 51 48 )
	13	( 29 20 )	3		45	( 94 83 )

ウ 健康安全教育

健康が幸せの根本であることはむかしも今も変わらない真理である。

我が国民の体位は欧米と比較して悪く、その上戦前、戦後の食糧不足は青少年の体位を著しく低下させた。

久万町では、婦人会、PTA等の学校完全給食実施についての強い要望が原動力となつて、合併前後より、全町的に完全給食が実施されることになった。

給食実施時期は次の通りである。

明神小学校	昭和32年11月
久万小学校	同 33年11月
直瀬小中学校	同 34年 3月
畑野川小中学校	同 34年 3月
二名小学校	同 34年 4月
父二峰小中学校	同 34年 5月
久万中学校	同 35年 9月

完全給食は、体位の向上に効果があるのみでなく、食生活の改善、栄養知識の普及、学校において人間関係をよくすること、食事についての躰の徹底等に役立ち、教育上効果大なるものがある。

久万町内の中学校3年年及び小学校6年生の身長、体重、胸囲の状況は次の通りである。

第6表 小学校6年 . . . 調査表 . . . 明神小学校長

男女別		年度									
		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
身長 cm	男	132.6	133.8	134.1	136.3	137.3	134.1	135.7	135.9	137.5	138.4
	女	132.4	135.3	134.5	136.7	137.8	135.2	138.9	140.2	139.5	141.9
体重 kg	男	28.3	31.1	30.1	30.5	32.4	30.2	29.0	30.9	32.1	31.8
	女	28.3	31.2	31.3	31.4	32.4	31.8	32.9	32.7	33.9	36.4
胸囲 cm	男	65.9	66.4	67.3	64.5	66.7	65.4	67.6	67.5	66.6	67.5
	女	64.3	67.0	67.1	64.7	68.3	65.8	67.8	67.4	68.5	71.1



第7表

小学校6年

調査表

久万小学校

男女別		年度									
		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
身長 cm	男	136.1	134.2	136.1	135.8	136.5	136.5	138.2	138.4	138.7	139.2
	女	137.7	136.6	138.4	136.6	139.3	139.1	139.9	141.5	138.7	141.0
体重 kg	男	31.0	31.1	31.5	30.5	30.3	30.4	31.9	32.3	32.1	33.2
	女	32.4	31.7	31.5	31.0	32.7	33.1	33.5	35.1	32.9	34.6
胸囲 cm	男	66.8	65.7	66.5	66.3	65.8	66.0	67.3	66.5	65.0	66.1
	女	67.0	65.2	65.0	66.1	66.7	66.5	67.3	66.6	65.4	66.1

第8表

小学校6年

調査表

畑野川小学校長

男女別		年度									
		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
身長 cm	男	133.9	134.4	136.9	135.4	136.5	136.8	134.1	139.8	137.2	140.1
	女	134.8	136.5	138.8	140.2	144.6	141.7	139.1	138.6	141.8	142.4
体重 kg	男	30.1	28.5	29.7	29.6	30.4	29.5	29.7	31.3	30.3	31.0
	女	29.9	32.3	32.5	34.1	34.3	33.7	33.5	31.9	34.1	35.7
胸囲 cm	男	66.1	65.9	66.2	66.3	66.2	67.8	65.6	66.2	67.0	65.2
	女	64.5	66.7	67.2	65.6	68.2	68.0	66.5	65.7	68.6	68.3

第9表

小学校6年 調査表

直瀬小学校

男女別		年度									
		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
身長 cm	男	133.48	134.26	133.75	136.0	136.0	134.1	136.5	138.2	139.1	138.35
	女	135.94	134.53	135.19	135.8	132.7	132.8	136.2	137.3	140.2	140.15
体重 kg	男	29.55	30.13	30.15	29.9	27.8	29.3	31.9	32.2	30.78	31.15
	女	32.41	38.0	30.13	30.2	31.1	30.6	31.75	31.9	33.3	32.65
胸囲 cm	男	66.8	66.08	66.05	66.0	68.98	66.7	69.1	64.8	66.26	65.55
	女	67.97	65.1	65.91	64.8	65.6	66.1	66.75	64.2	67.8	66.45

第10表

小学校6年

調査表

父二峰小学校

男女別		年度									
		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
身長 cm	男	134.2	133.7	134.1	134.8	133.6	135.5	138.2	137.1	137.2	135.9
	女	136.2	135.9	136.2	136.5	134.8	136.5	136.2	139.5	136.8	130.6
体重 kg	男	30.2	29.5	29.9	30.0	31.1	29.7	31.7	31.1	31.8	31.1
	女	31.1	31.5	31.9	31.6	30.6	28.1	32.1	32.7	30.8	31.9
胸囲 cm	男	65.7	65.3	65.9	65.9	64.5	64.7	65.9	66.4	67	65.3
	女	65.5	65.9	67.02	64.0	64.1	65.1	64.1	66.2	66.5	65.2

第11表 小学校6年

調査表

二名小学校

年度 男女別		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
		身長 cm	男 132.66	134.2	132.0	136.5	134.2	135.3	133.1	136.3	142.3
	女 133.90	134.9	137.0	137.3	138.0	136.1	138.5	134.5	139.2	142.7	
体重 kg	男 29.24	28.7	28.1	28.5	30.0	30.6	29.7	29.5	33.9	32.3	
	女 30.54	30.6	31.5	31.3	31.7	31.8	33.6	29.3	32.8	35.7	
胸囲 cm	男 66.98	66.1	65.33	60.5	65.2	65.7	64.7	65.3	69.1	68.4	
	女 65.45	65.3	66.9	65.9	64.9	66.3	65.7	64.2	67.1	68.4	

第12表 中学校3年調査表

久万中学校

年度 男女別		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
		身長 cm	男 152.1	152.9	152.3	160.6	153.9	159.2	155.5	159.0	155.7
	女 149.5	148.8	149.9	150.0	151.0	155.5	149.4	153.3	152.3	151.6	
体重 kg	男 42.8	44.6	45.5	49.2	44.7	46.6	47.8	46.9	46.1	47.9	
	女 44.3	44.7	44.3	45.7	47.3	46.4	42.5	46.6	48.3	46.5	
胸囲 cm	男 75.8	72.4	75.9	78.3	75.3	75.5	76.6	77.1	77.5	78.1	
	女 75.1	76.0	74.2	76.0	76.1	75.5	81.1	76.0	77.1	77.6	

第13表

## 中学校3年調査表 畑野川中学校

年度 男女別		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
		身長 cm	男	151.4	151.5	152.1	154.1	154.7	155.5	155.8	157.2
	女	148.3	147.5	148.0	149.8	151.2	150.2	151.0	153.7	153.4	152.0
体重 kg	男	44.3	42.7	43.8	46.0	44.2	46.5	46.5	46.1	48.1	45.1
	女	44.3	43.1	43.9	44.8	45.8	47.0	47.0	47.7	47.7	49.4
胸圍 cm	男	77.0	76.7	76.3	78.1	76.7	77.3	75.7	75.9	75.7	72.3
	女	77.6	76.5	78.9	79.6	78.0	77.5	77.3	77.4	76.9	74.3

第14表 中学校3年 調査表

## 直瀬中学校

年度 男女別		34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
		身長 cm	男	150.1	149.6	151.9	154.3	154.2	154.0	154.7	152.4
	女	148.5	148.7	147.5	149.2	148.2	149.2	154.8	150.0	151.5	151.2
体重 kg	男	43.8	44.7	43.7	44.9	46.0	45.2	50.2	45.8	46.0	47.7
	女	43.5	44.6	44.3	45.8	45.7	45.4	47.4	46.1	48.4	47.4
胸圍 cm	男	74.9	75.5	76.0	76.8	77.1	76.0	78.9	74.2	75.2	78.1
	女	78.4	75.9	76.7	78.2	78.8	76.7	78.6	76.2	79.3	77.3

男女別		年度	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
身長 cm	男		150.14	150.15	149.60	152.4	153.2	153.2	156.4	154.1	155.9	156.71
	女		147.82	148.04	148.07	149.7	149.1	149.7	150.6	150.6	149.9	151.55
体重 kg	男		42.21	42.70	40.04	42.5	43.5	45.2	45.6	45.6	45.5	47.20
	女		44.04	43.75	42.84	43.1	42.0	44.8	45.7	45.5	45.1	43.28
胸囲 cm	男		74.29	76.05	74.38	75.4	74.6	82.4	78.4	86.5	79.3	80.95
	女		77.04	75.95	75.65	76.1	78.1	82.2	77.6	76.3	80.5	76.38

久万町として、昭和42年度より、栄養士において、全町的に栄養の指導、食生活の改善に万全を期している。

戦後の食生活改善によつて、青少年の体位は著しく向上したが、体力は必ずしも向上したとはいえない。むしろ低下している要素が多い。

これは学校教育、家庭教育における体育指導のあり方も問題点があると思われるが、現代社会における交通機関の発達による運動不足の要素が多くなつていることとも深い関係があるものと思われる。

学校教育においても体育指導に工夫改善が必要である。

久万町では、昭和42年度よりトレーニングを重視し、42年度は中学校に、43年度は小学校にトレーニング施設充実補助金を特別配当した。各学校では、トレーニングの時間を業間に特設して体力づくりに取り組んでいる。

なお、久万町としては、学校教育のみでなく、学庭、社会をふくめて「体力づくりの町」宣言し、体力づくりを総合教育の基本目標として、町ぐるみで努力している。

昭和43年度は特に体力テスト器具を中学校区単位に整備して、児童、生徒の体力テストのみでなく一般成人の体力テストもたびたび実施している。それによつて自己の体力年令を自覚して、それぞれの年令に即応した体育を実行するよう指導している。

食生活の改善、保健衛生思想の普及、体育の振興等が並行して指導がされなければ効果も少ない。したがつて、総合的指導するよう努めているわけである。

近来、急激な自動車の増加や、道路の改修等で交通は便利になつたが、久万町の交通事故は年をおつて激増している。各学校では「交通安全校」を宣言して、その指導に万全を期している。

今後学校教育，社会教育一体となつて計画的に安全教育の徹底に努めなくてはならない。  
久万町の交通事故の状況は次の通りである。

第16表 上浮穴郡及び久万町交通事故発生件数表

		昭和 34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年
郡	発生件数	56件	89	48	51	35	43	37	70	107
	死亡者数	2名	7	4	6	4	3	4	8	13
内	その他の 事故件数	54件	82	44	45	31	40	34	64	98
	発生件数	件	42	20	23	13	20	17	32	66
町	死亡件数	名	0	1	1	1	1	1	1	3
	その他の 事故件数	件	40	19	22	12	19	16	31	63

#### エ 情 操 教 育

情操豊かな人間を育成することは，現在のきびしい社会情勢の面からも，道德教育徹底の面からも大切なことである。

昭和35年ごろより，新生活運動の目標の一貫として「花つばい運動」が展開されている。

情操教育に及ぼす環境の影響は特に強く，町内各学校においても，菊づくりをするなど環境美化に努力している。このような運動はやがて情操教育推進のために大きな効果をもたらすものと思われる。

音楽，美術教育についても努力しており，特に榎谷分校，二名小学校等小規模がその実績を上げている。このことはまことにうれしいことである。

読書指導等は，学力の高度安定のためにも大切なことであり，さらに，情操教育上も重要なことである。

本郡は地域の特殊性からして読書力，表現力が一般に劣っている。

そこで，久万町としては，読書指導徹底のために常に努力しているわけである。42年度より，各校に1名ずつ読書指導推進員を委嘱するなど，学校・社会を通じて読書活動向上のために努力している。

久万町内小・中学校図書冊数は次の通りである。

第17表 久万町各小中学校図書蔵書冊数

学 校 名	図 書 冊 数	児童生徒数	標 準 冊 数	過 不 足 冊 数
久 万 中	3,317	451	1,928	+ 1,389
畑 野 川 中	1,984	166	864	+ 1,120
直 瀬 中	2,000	178	912	+ 1,088
父 二 峰 中	3,000	154	816	+ 2,184
久 万 小	4,183	553	1,456	+ 2,727
明 神 小	1,615	207	720	+ 895
畑 野 川 小	1,200	192	680	+ 520
直 瀬 小	1,048	208	720	+ 328
父 二 峰 小	1,690	117	492	+ 1,198
二 名 小	907	89	300	+ 607

#### オ 特 殊 教 育

教育では、ひとりひとりの能力に応ずる教育、個に徹する教育が重要であり、要求されねばならない。

能力に恵まれない児童、生徒の教育については特に配慮しなくてはならない。

久万町として、昭和39年度より久万中学校に、同40年度より久万小学校に特殊学級を1学級ずつ設置し、特殊教育に努力している。

地元有志が後援会を組織し、該当児童、生徒の父母が「父母の会」を組織するなど、その振興に努めている。

この特殊教育では特に学校職員、及び校下の父母の協力が必要である。

#### カ 現 職 教 育

教育振興の第1条件は、教師資質の向上であることは論を待たない。戦後の教師不足による質の低下、社会の混乱、偏向した組合運動による教師の使命観の喪失、その結果として、教師に対しての児童、生徒更に父母の信頼感の喪失等の悪条件が重なり、そのために教育現場は著しく荒廃した。

しかし、この荒廃の原因を深く反省し、教師はだんだん専門職としての使命観を自覚して、組合を脱退し、昭和35年9月18日に研修団体としての受媛県教育研究協議会（受教研）を結成した。そして本来の姿に立ち返り研修に励むようになった。

その後、教師の教育意欲、指導力は急速に高まり、地域の父母の信頼も遂に回復していった。

久万町教職員は、愛教研を中心としての研修、久万町教育委員会主催の年5回の研究会における研修その他グループによる自主的研修等によつて真摯な研修を積み重ねており、教壇はだんだん充実して来ているようである。

## (2) 施設設備

久万町の教育設備は比較的よく整つている。このことは、たいへんよろこばしいことである。

合併当時は、給食施設の充実に重点がおかれたが、給食施設が一応完備されると体育施設の整備にとりかかり、屋内運動場を直瀬小中学校、父二峰小中学校、畑野川小中学校に年次的に建設した。

昭和42年から水泳プールの工事にかかり、42年には直瀬小中学校のプールが建設され、43年には久万中学校、二名小学校のプールが建設された。

合併後施設整備の状況は次の通りである。

### ○ 中学校

#### ア 久万中学校

35年	給食室完成
36年	水生植物園，理科教室（3教室）完成
38年	北校舎ペンキ塗装
41年	理科室整備
42年	調理室整備，トレーニング設備完成，駐車場整備
43年	プール完成，放送設備更新

#### イ 畑野川中学校

34年	家庭科及び本館内部壁修繕
35年	井戸水配給水及び電気工事の完成
36年	普通教室（1教室）増築
39年	自転車置場及び体育庫増設
42年	理科室整備，トレーニング設備完成
43年	運動場金網改修

#### ウ 直瀬中学校

34年	バツクネット完成
39年	屋内運動場完成
41年	北校舎ペンキ塗装
42年	体育庫整備，トレーニング設備完成
43年	運動場金網整備

#### エ 父二峰中学校

38年	特別教室完成，給水工事整備
-----	---------------



- 40年 屋内運動場完成
- 42年 本館ペンキ塗装、トレーニング設備完成
- 43年 本館屋根ふきかえ

○ 小 学 校

ア 明神小学校

- 34年 運動場拡張
- 39年 本館壁修理及びペンキ塗装
- 42年 理科室整備
- 43年 講堂照明施設整備

イ 久万小学校

- 34年 給食室の門、ブロックへい工事完成
- 35年 南校舎内部ペンキ塗装
- 36年 北校舎内部ペンキ塗装
- 39年 放送器具整備
- 40年 本館新築完成、講堂移転
- 42年 倉庫整備
- 43年 運動場金網整備

ウ 畑野川小学校

- 34年 本館改築、給食室完成
- 40年 体育施設整備
- 41年 屋内運動場完成
- 42年 理科室整備
- 43年 体育庫整備

エ 直津小学校

- 34年 給食室完成
- 37年 給食室の改造
- 39年 給水工事完成（段より給水）
- 42年 プール完成、体育用用具整備
- 43年 理科室整備

オ 父二崎小学校

- 34年 給食室完成
- 36年 簡易水道完成
- 40年 放送施設修繕
- 42年 教室照明施設整備、屋根及び遊具ペンキ塗装
- 43年 理科室整備

カ 二名小学校

34年	講堂ペンキ塗装
36年	校門完成
37年	簡易水道完成
41年	講堂床板張り替え
42年	運動場金網整備
43年	プール完成

(5) 各校の状況

町内の各校がそれぞれ特色を かせしつつ、教職員が協力し、その実績を上げていることはよろこばしいことである。

過去10カ年に大きな事故は生じておらず、このことも教職員一同が厳正に服務している結果と思われる。

P T Aの活動もめざましく、どの学校のP . T . Aも専心両面にわたり絶大な協力をしている。このことが教師をこの上もなく勇気づけ、教育振興の原動力となつている。

反面、児童、生徒は年々減少し、久万中学校以外の中学校は昭和47年度より3学級になり、小学校も複式になる学校ができる状況である。

この現実立つて、学校統合についても真剣に研究検討すべきであると思われる。

合併後10の町内各校児童生徒数の状況及び努力目標は次の通りである。

第18表

## 久万中学校

年 度	学 級 数	生 徒 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	10	496	262	234	藤井 潤二	小田 慶孝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上、道德教育の振興、環境整備</li> <li>・産業教育振興会</li> <li>・片山美佐子砲丸投げ日本一</li> </ul>
35年度	11	539	262	234	小椋 秀雄	同 上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上、道德教育の振興、</li> <li>・健康安全の教育、環境整備</li> <li>・学校林育成（下刈）</li> <li>・理振法、産振法</li> </ul>
36年度	10	496	262	234	〃	大野 憲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力充実健康教育、</li> <li>・教育環境整備</li> <li>・健康安全教育</li> <li>・校歌制定</li> </ul>
37年度	13	611	312	299	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力充実、道德教育</li> <li>・教育環境の整備</li> <li>・中予地区校長研修会</li> </ul>
38年度	14	609	301	308	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力充実の道德教育の徹底</li> <li>・健康教育の充実、剣道県大会優勝</li> <li>・郡教研大会、</li> <li>・中予地区教頭会</li> </ul>
39年度	13	572	278	294	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上、道德教育の振興</li> <li>・少年の日</li> <li>・養護学級設置</li> <li>・剣道全国優勝</li> </ul>
40年度	13	542	262	280	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上、科学技術教育の振興、</li> <li>健康安全教育</li> <li>・特殊教育後援会発足</li> </ul>
41年度	13	495	245	250	土居 正一	川崎 清規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道德教育の徹底</li> <li>・学習指導の改善</li> <li>・町内合同少年式</li> <li>・中予地区校長研修会</li> <li>・剣道</li> </ul>

年 度	学 級 数	生 徒 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
424年度	13	450	217	233	土居 正一	川崎 清規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の充実徹底</li> <li>・体力づくり，環境整備</li> <li>・中予地区教頭研修会</li> <li>・県大会で剣道優勝全国大会 3位</li> </ul>
434年度	13	436	218	218	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導の改善充実</li> <li>・道徳教育と生徒指導につ いて</li> <li>・第1回松山管区研究大会</li> <li>・第8回愛媛県教育研究大会</li> </ul>

第19表

畑野川中学校

年 度	学 級 数	生 徒 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	4	146	78	68	平岡 未一	大野 憲	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 給食開始について努力す る。</li> <li>B 郡PTA研究会及び久万 町合併を行う。</li> </ul>
35年度	5	167	88	79	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 水不足に対して水道施設 充実に努力を行なう</li> <li>B 学校給食保健教育研究会 を行う。</li> </ul>
36年度	6	211	105	96	〃	田田村 修治	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 普通教室の増築について 努力</li> <li>B 文部省学力テスト(第1 回)が行なわれる。</li> </ul>
37年度	6	210	110	100	西岡 忠良	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 校内環境の整備</li> <li>B 校内より玄関の通路改修 作業を実施</li> </ul>

年 度	学 級 数	生 徒 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
38年度	6	210	108	102	西岡 忠良	田村 修治	A 産業教育指定校としての 研究に努力 B 産業教育研究会を行う。
39年度	6	199	99	100	〃	鈴木 貞雄	A プラスバンド編成と環境 整備に努力 B 岩石標本の 集を行なう。
40年度	6	189	89	100	〃	〃	A 校内施設の改善 B P T A 主催の植樹祭を行 い校庭に植樹
41年度	6	169	85	84	〃	〃	A 体育館建設に努力 B 体育館落成行事及び体育 館開きを行う。
42年度	6	166	88	78	〃	〃	A 水不足の水源確保とサー キット、トレーニング B 県教委の学校訪問及び 畑野川柔剣道後援会の結 成を行う
43年度	5	145	82	63	〃	〃	A 校内環境整備と体力作 りに努力を行う B 郡英語研究会を行う

第20表

愛媛県上浮穴郡久万町立直瀬中学校

年 度	学 級 数	生 徒 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	5	158	66	92	大野 政友	岡田 時晴	学力の向上と道徳教育の充実を図る 町長、町議、吏員町有物の 視察 郡数学研究会

年 度	学 級 数	生 徒 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
35年度	5	174	67	107	大野 政友	室坂 通 泰	学力の向上と道徳教育の充実を図る。 県指定道徳教育研究大会
36年度	6	229	129	100	〃	〃	学力の向上と道徳教育の完全を図る。 郡校長会
37年度	6	241	119	122	徳永 元晴	〃	学力の向上と道徳教育の拡充を図る 郡数学研究会
38年度	6	252	132	120	〃	〃	学力の向上と教育の充実を図る。 郡音楽研修会
39年度	6	240	124	116	〃	〃	学力の充実と教壇の充実を図る 体育館落成式 オリンピック聖火送迎 郡道徳研究会、郡教頭会
40年度	6	212	110	102	石田 精二	〃	学力充実と道徳教育の徹底を図る 郡理科学研究会
41年度	6	195	102	93	〃	田本 芳夫	学力の充実と生徒指導の徹底を図る 開校20年演劇発表会 耐寒かけ足実施(本年より) 郡技家研究会
42年度	6	178	90	88	〃	〃	生徒指導の徹底を図る プール落成式 生徒心得作成 郡美術研究会
43年度	5	168	90	78	〃	〃	生徒指導の徹底を図る 生徒手帳交付 郡社会研究会 町生徒指導研究会

第21表

## 久万町立父二峰中学校

年 度	学 級 数	生 徒 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	6	183	88	95	黒田 英雄	木村 忠	科学技術教育の振興 教育環境の整備 健康教育の推進 学校給食開始 理科研究会
35年度	6	209	104	105	橋本鬼士男	川崎 清規	教育課程移行に対する研究 基礎学力の充実 指導時数の確保 英語研究会
36年度	7	263	140	123	〃	大野 貞義	道徳教育の振興 学力の充実 健康教育の推進 科学技術教育の充実 国語研究会
37年度	7	249	131	118	〃	〃	現職教育の充実、学力の充実 道徳教育の推進 校旗、副校旗受領式 校長研修会
38年度	7	240	126	114	〃	田本 芳夫	道徳教育の徹底、教師の研修 学力の充実 施設、備品の充実 愛媛教育委員会学校訪問 数学研究会
39年度	6	197	93	104	中塚 重夫	〃	科学技術教育の振興 道徳教育の徹底 学力の充実、体育の振興 進路指導の適正 音楽研究会、体育館 落成式

年 度	学 数	生徒 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
40年度	6	182	90	92	中塚 重夫	田本 芳夫	科学技術教育の徹底 学力の充実、道徳教育の徹底 体育の振興、進路指導の適正 道徳教育研究会
41年度	5	160	81	79	〃	土井 幹彦	学力の充実 科学技術教育の徹底 情操教育の推進 健康教育の振興 進路指導の適正 理科研究会
42年度	5	154	81	73	〃	〃	学習指導の充実と、生徒指導の徹底 健康教育の促進 科学技術教育の徹底 技術家庭研究会
43年度	4	131	70	61	〃	〃	学習指導の充実 道徳教育の充実と生徒指導の徹底 健康教育の促進 科学技術教育の徹底 美術研究会

第22表

明神小学校

年 度	学 級 数	児童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	11	362	187	175	西本 玉繁	神谷 亀	1, 学力充実 2, 放送教育 3, 学校給食
35年度	9	320	157	163	〃	〃	1, 学力充実 2, 放送教育



年 度	学 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
36年度	8	318	162	156	渡部 綱賀	神谷 亀	1, 学力充実 2, 放送教育の充実 3, 英語教育研究大会
37年度	8	295	150	145	〃	大野 専	1, 学力の充実 2, 放送教育の充実 3, 学庭科研究会
38年度	6	280	142	138	〃	〃	1, 学力の充実 2, 中学年学級経営の研究
39年度	7	252	128	124	〃	相原 芳愛	1, 学力の充実 2 高等年学級経営の研究
40年度	6	238	122	116	〃	〃	1, 学力の充実 2, 視聴覚教育の研究
41年度	6	224	119	105	〃	〃	1, 学力の充実 2, 読書指導の研究 3, 校長研修会
42年度	6	207	112	95	〃	〃	1, 学力の充実 2, 郷土教育を加味した社会科研究
43年度	6	186	104	82	〃	〃	1, 学力の充実 2, 図工の研究 3, 社会科の研究

第23表 久万小学校  
( )内は榎谷分校

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	(3) 18	(33) 832	(13) 406	(20) 426	西内 清己	宇都宮 伯	○環境整備 ○道徳教育の研究 ○学力の充実 ○学校給食の実施 ○地域との連携 (榎谷分校, 久万小分校となる。

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
35年度	(2) 18	(30) 788	(11) 379	(19) 409	黒田 英雄	三好 四郎	○人間的ふれ合による安定感 ○学力の充実 ○道德教育の徹底
36年度	(2) 19	(32) 723	(15) 340	(17) 383	〃	川崎 清規	○人間的ふれ合による安定感 ○学力の充実 ○道德教育の徹底 ○理科教育の振興 ○健康教育の充実 (文部大臣表彰, 宇都宮氏)
37年度	(2) 18	(22) 719	(9) 346	(13) 373	〃	〃	○人間的ふれ合による安定感 ○基礎学力の充実 ○道德教育の徹底 ○理科教育の振興 ○健康教育の充実 (落合分校統合)
38年度	(4) 17	(24) 710	(7) 351	(17) 359	〃	〃	○人間的ふれ合による安定感 ○基礎学力の充実 ○道德教育の徹底 ○理科教育の振興 ○健康教育の充実
39年度	(2) 17	(21) 649	(8) 323	(15) 326	〃	大野 章	○人間的ふれあいによる安定感 ○学力の充実 ○道德教育の徹底 ○特活運営の研究
40年度	(2) 17	(21) 599	(6) 303	(15) 296	〃	〃	○人間的ふれ合による安定感 ○学力の充実 ○道德教育の徹底 (給食, 文部大臣表彰)
41年度	(2) 17	(21) 587	(7) 289	(14) 298	〃	〃	○人間的ふれ合による安定感 ○学力の充実 ○道德教育の徹底 (校歌制定)
42年度	(2) 17	(18) 553	(5) 286	(13) 267	小田 慶孝	上岡 俊信	○現職教育の重視 ○学力の充実 ○道德教育の徹底 ○理科教育の振興 ○健康教育の充実 (剣道全国 3位)

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
43年度	(2) 14	(17) 511	(4) 231	(13) 250	小田 慶孝	上岡 俊信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現職教育の重視</li> <li>○学力の充実</li> <li>○道徳教育の徹底</li> <li>○健康教育の充実</li> <li>○特殊教育の充実</li> </ul>

第24表 久万町立畑野川小学校

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
344年度	12	433	219	214	山口 盛継	大野 伊平	1,主な努力目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上</li> <li>・安全教育</li> <li>・道徳教育</li> <li>・情操教育</li> </ul> 2,行 事 <ul style="list-style-type: none"> <li>郡内道徳教育研究大会</li> </ul>
35年度	12	404	209	195	〃	〃	1,・健康安全教育の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上</li> <li>・道徳教育の徹底</li> <li>・情操の陶冶</li> </ul> 2,郡内給食研究大会
36年度	12	391	200	191	〃	〃	1,・新教育課程完全実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主教育の確立</li> <li>・道徳教育徹底</li> <li>・学力の向上</li> </ul> 2,郡内視聴覚教育研究大会
37年度	11	358	184	174	藤井 明雄	神谷 亀	1,・健康教育の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上</li> <li>・科学教育の振興</li> <li>・道徳教育の徹底</li> <li>・視聴覚教育の重視</li> </ul>
38年度	10	319	168	151	〃	〃	1,・読書指導と図書館教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の充実</li> <li>・道徳教育</li> </ul>
39年度	9	280	147	133	〃	〃	2,郡内図書館研究大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>1,・学力の向上安定</li> <li>・体力作り</li> <li>・指導力の充実</li> <li>・情操教育</li> </ul> 2,町内中学年部研究会

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
40年度	8	245	133	112	田中 信之	神谷 亀	1・学力の向上安定 安全教育促進 ・科学教育の振興 ・体位の向上 2,郡内体育研究大会
41年度	7	226	116	110	〃	〃	1,・基礎学力の養成 ・情操教育振興 ・科学教育の振興 ・道徳教育徹底 2,町内中学部研究会
42年度	6	188	99	89	〃	〃	1,・親子20分間読書 ・体力作り ・学力の向上 ・小さい親切 2,町内の読書指導研究会
43年度	6	178	94	84	〃	〃	1,・児童の発表力養成 ・体力作り ・読書力の向上 ・基礎学力の養成 2,郡内特,活研究大会

第25表 直瀬小学校

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	12	420	217	203	小 秀雄 大野 政友	大野 草	道徳教育の徹底 学力の充実 健康教育の推進 環境整備
35年度	12	403	217	186	高橋 盛一	〃	基礎学力の充実 道徳教育の徹底 情操教育の推進 学校環境の整備
36年度	12	383	1	184	〃	〃	道徳教育の徹底 学力の充実 健康教育の推進 環境整備

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
37年度	10	342	179	163	和田 盛重	大野 伊平	学力の充実 科学教育の充実 道徳教育の徹底 健康教育の充実
38年度	10	325	169	156	〃	〃	学力の充実 教科課程実施の徹底 科学教育の充実 健康教育の充実
39年度	9	288	152	136	高橋 滋	〃	道徳教育の徹底 学力の調和的向上充実 科学教育の振興
40年度	9	269	142	127	〃	〃	道徳教育の徹底 学力の調和的向上充実 情操教育の推進 健康安全教育の徹底
41年度	7	2		109	〃	〃	道徳教育の徹底 学力向上充実 健康教育の進推 環境の整備
42年度	7	208	116	92	平松 幸夫	〃	道徳教育の推進 健康安全教育の徹底 学力の調和的向上 科学教育の振興
43年度	7	195	112	83	〃	〃	道徳教育の推進 健康安全教育の徹底 学力の調和的向上 科学教育の振興

第26表 父二峰小学校

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	8	323	166	157	竹内 智夫	山田 健郎	・基礎学力の充実 ・校内研究の拡充
35年度	8	292	149	143	土屋 政則	〃	・校内研究会の充実 ・基礎学力の充実 ・情操教育の徹底

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
36年度	8	275	143	132	土屋 政則	上岡 俊信	・基礎学力の充実 ・健康教育の重視 ・郡給食研究会
37年度	6	212	118	94	〃	〃	・基礎学力の充実 ・読書指導の徹底 ・健康教育の重視
38年度	6	195	114	81	〃	〃	・図書館研究会 ・基礎学力の充実 ・読書指導の徹底
39年度	6	158	94	64	高岸 勝	〃	・道徳教育の充実 ・科学教育の充実 ・民主的運営 ・学習指導の充実
40年度	6	141	82	59	〃	〃	・健康教育の徹底 ・郡算数研究会 ・学習指導の充実
41年度	6	140	81	59	北村 実	〃	・健康教育の徹底 ・情操教育の徹底 ・環境整備の拡充
42年度	6	121	75	46	〃	森岡 敏	・理科教育の推進 ・しつけ訓育の徹底 ・学力のしつけ
43年度	6	122	67	55	〃	〃	・しつけと訓育の徹底 ・理科教育発表会 ・学力の充実 ・しつけと訓育の徹底 ・道徳教育の充実 ・郡校長会

第27表 二名小学校

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
34年度	6	161	89	72	大野 武男	相原 芳愛	健康教育の推進 基礎学力の向上 道徳教育の推進

年 度	学 級 数	児 童 総 数	男 子	女 子	校 長	教 頭	主な努力目標及び行事
35年度	6	160	88	72	大野 武男	相原 芳愛	健康教育の推進 道徳教育の推進 科学技術向上の強化 基礎学力の向上
36年度	6	139	65	73	〃	〃	健康教育の推進 算数、国語教育の道徳教育の 推進
37年度	6	133	62	71	〃	〃	教師の実力養成 学力の充実
38年度	6	124	56	68	小椋伊十郎	〃	学校給食の研究 教師の実力養成 道徳教育の徹底 学力の充実
39年度	6	115	52	63	〃	源田 定行	学校給食の研究 科学教育の振興 教師の実力養成 学力の充実、科学教育の振興
40年度	6	106	49	57	〃	〃	道徳教育の徹底 教師の実力養成 学力の充実 科学教育の振興
41年度	6	96	45	51	〃	〃	道徳教育の徹底 教師の実力養成 学力の充実 学校給食の研究 環境整備
42年度	6	89	43	46	〃	〃	道徳教育の徹底 教師の実力の養成 学力の充実
43年度	6	86	47	39	〃	〃	健康教育の重視 科学教育の振興 道徳教育の徹底 学力の充実 道徳教育の充実 児童指導の徹底 情操教育の推進

## 2 社会教育

### 1, 社会教育の課題 10年の変遷

昭和34年度

新町社会教育の体制づくり，条例・規則の制定

昭和35年度

〇合併後2年目を迎えたが，町民意識はまだ統一されていないという批判があり，「我が町」意識を育てる努力が重要な町づくりの課題となる。

〇青年実態調査実施によつて明らかにされた問題点

- (1) 進学率の低いこと（約35%）
- (2) 卒業後の就職指導が行なわれていないこと。
- (3) 在村青年の職業教育が行なわれていないこと。
- (4) 地域青年団，青年学級が不振であること。

この調査により，勤労青年指導上の課題が明らかにされた。

昭和36年度

農林業基本問題調査会の調査の発表により，農山村をとりまく事情が明らかになった。農業と他産業との所得格差の問題，生産性向上対策の問題等容易ならぬ問題が明らかにされ農家に多くの不安と混乱を起こさせた。特に青年層に大きな影響を与えた。

昭和37年度

久万町が，農業構造改善事業の指定を受けた。困難性の多い大事業であり，全町の力の結集が要望され，農業構造改善事業の理解と相互協力が強く望まれた。

昭和38年度

農村の都市化が急激に進行し，電化製品などの急速な普及がみられ，「消費は美德なり」の生活態度が生まれ，消費生活，亭楽生活が流行するようになった。さらに卑俗な亭楽主義を招き青少年の不良化，非行化の増加が大きな社会問題となった。

昭和39年度

都市化傾向が急速に進行し，農家の兼業化が増加して，主婦の過重労働を招いた。三チャン農業，青年の都市流出などが大きな課題となった。

昭和40年度

農家の兼業化と共に出かせぎが増加し始め，はげしく収入を追う生活となり，家庭教育上にも幾多の問題を残した。

そのような中で，明るい地域づくりや家庭づくりを目ざして愛護班活動が盛り上がった。

昭和41年度

人口流出がはげしく，中でも後継青年の数がますます減少した。

改修中の国道33号線が完成することにより，松山，高知間の時間的短縮は，商工業者に



大きな不安を与えた。農林業、観光面においてもどう取り組むべきかが大きな課題となった。

#### 昭和42年度

出かせぎ実態調査を実施した。出かせぎの大半の者は、地元にとまどつた仕事がないから今後も続けるといつている。

第1次産業の所得の頭打ちは出かせぎ兼業・転出等の増加を招き農業従事者の減少と高齢化、女性化の比重を高めた。

#### 昭和43年度

- ・人口過疎現象が大きな課題となり、学校統合などの研究協議会も生まれた。
- ・総合教育の重要性が強くさげられるようになり、久万町も県教委の実験研究町村として指定を受けた。

総合教育推進協議会を結成し、社会道德の高揚、体力づくりを二本の柱として推進するようになった。

### (2) 新町 社会教育の基本方針

旧町村から新町に引き継がれた社会教育の施設、組織、人的配置は、ともに近隣町村に比較すると一応の充実と広がりをもっていたが、合併した一町二村間においては、かなりの相違点があつた。

そこで新しい町の体制をつくるために、合併協議会の結論を軸に基本方針を定めて段階的改革を旨とし、基礎づくりから出発した。

- ア 社会教育団体の統合目標の設定と、協議体の結成
- イ 公民館の位置づけ。(条例の制定)
- ウ 社会教育職員の職務分掌と、総合機能の強化
- エ 幼児学級の管理運営方針と、指導体制の確立
- オ 青年学級の運営規則の制定と、移行措置の決定。
- カ 公民館管理運営方針の決定と、移行措置の決定。
- キ 社会教育委員、公民館運営審議会の組織化と年間目標の決定
- ク 公民館図書統合と利用規則の統一。
- ケ 町内生産研究団体の連絡体制づくり
- コ 未移管公民館施設の町移管の決定。
- サ 各公民館の管理運営委員及び役員の新規則に基づく改選

以上の11項目にわたる基礎条件の整備に努力したが、特に社会教育における人間関係こそ合併し拡大された新しい町づくりの緊急で重要な課題と考えられた。

そのような立場から、社会教育では「人間尊重の精神を基盤として、自覚と責任ある人づくりにより、香りの高い郷土文化の創造と生産の近代化に、家族ぐるみの総合的な教育活動を推進

する」ことを基本方針に定め、次の4点を努力目標とした。

- 1, 自主性, 協同性のある人間づくり。
- 2, 清潔で健康な生活の建設。
- 3, 生産の近代化, 消費の合理化推進
- 4, 香り高い郷土文化の創造。

(3) 条例・規則の制定

- ① 久万町公民館の設置及び管理に関する条例。(昭34年5月26日制定・昭43年6月4日1部改正)
- ② 久万町公民館管理運営規則・久万町中央公民館運営審議会規則・久万町幼児学級の設置及び運営に関する規則・久万町社会教育委員に関する規則・久万町青年学級の開設及び運営に関する規則(以上昭34年7月1日制定)
- ③ 久万町公民館管理運営に関する準則(昭35年4月1日制定)
- ④ 久万町中央公民館図書利用規則(昭34年9月1日制定)
- ⑤ 久万町有線放送管理運営条例(昭37年9月1日制定)
- ⑥ 久万町文化財保護条例(昭36年9月16日制定)
- ⑦ 久万町体育指導委員に関する規則(昭37年4月1日制定,昭41年4月1日一部改正)

これらの条例,規則の制定によつて,公民館が位置づけられ,幼児学級,青年学級,婦人学級などが開設され,続いて社会教育団体が統合され,新しい町の社会教育体制が確立されていった。

第28表 社会教育費の10年の推移

年 度	教育費予算総額	社会教育費予算総額	教育費に対する社会教育費	町民1人当り社会教育費
34	18,000円	4,466円	3.27%	270円
35	21,169	3,857	2.4.1	252
36	20,026	4,138	2.2.3	271
37	21,508	4,335	2.0.1	305
38	26,175	5,728	2.3.0	411
39	38,247	6,014	2.9.9	445
40	55,158	6,306	3.1.0	484
41	47,275	5,351	2.1.0	425
42	49,233	5,906	2.0.3	490
43	58,233	6,625	2.2.1	562

第29表 中央公民館審議会委員一覧

(36年後は、社会教育委員と兼任)

氏名	氏名	氏名	氏名
平岡末一	岡田トキ子	棟田満雄	河野幸義
黒田英雄	名智観子	岡田義信	安部一義
池内儀男	大野迷子	水谷清一	山本重義
玉水寿清	楠クニ子	福山柳一	
真木孝志	大田正志	円山とし子	

第30表 社会教育委員一覧 (34,35年度)

氏名	氏名	氏名	氏名
安藤道治	大野隆則	相原佐加雄	小椋節三郎
小椋秀雄	小椋ヒデ	宮崎大元	菅高夫
大野政友	山内景介	秋本通行	
橋本鬼子男	宮西石男	石田多美男	

(36年度)

氏名	氏名	氏名	氏名
有吉菊一	大野政友	大野隆則	宮西石男
小椋秀雄	小椋ヒデ	山岡勇	石田多美男
田中武雄	山内景介	大野弘	

(37・38年度)

氏名	氏名	氏名	氏名
有吉菊一	橋本鬼士雄	石田多美男	小椋千太郎
大野憲	徳永元晴	大野隆則	西森劭
大野健二	小椋ヒデ	山田暎	
西岡忠良	宮西石男	秋本通行	

3 9 年 度	4 0 年 度	4 1 年 度	4 2 年 度	4 3 年 度
氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
小 椋 秀 雄	小 椋 秀 雄	藤 沢 五	藤 沢	松 尾 亥三郎
有 吉 菊 一	藤 沢 五	渡 部 綱 賀	小 田 慶 孝	小 田 慶 孝
黒 田 英 雄	黒 田 英 雄	中 塚 重 夫	中 塚 重 夫	中 塚 重 夫
高 岡 信 栄	高 岡 信 栄	岡 田 時 子	窪 田 正 雄	西 尾 道 尊
小 椋 ヒ デ	小 椋 ヒ デ	秋 田 タマ子	川 井 安 雄	日 野 順 子
管 政 子	管 政 子	渡 部 清 美	秋 田 タマ子	土 居 千 重
正 岡 邦 夫	正 岡 邦 夫	土 居 紀 弘	大 野 ナミ子	小 倉 幸 子
嶋 村 忠 義	嶋 村 忠 義	金 子 佐々雄	嶋 村 忠 義	東 田 数太郎
土 居 寛	土 居 寛	嶋 村 忠 義	土 居 寛	金 子 佐々雄
秋 本 通 行	秋 本 通 行	土 居 寛	岡 譲	光 田 繁 光
宮 西 石 男	大 野 道 子	正 岡 豊	東 田 数太郎	土 居 寛
大 野 道 子	加 藤 学	片 岡 充 男	金 子 佐々雄	岡 譲
加 藤 学 介	片 岡 充 雄	石 田 多美雄	光 田 繁 光	関 井 義 弘
山 内 景 介	宮 西 石 男	菅 万太郎	関 井 義 弘	大 野 草
片 岡 充 雄	山 内 景 介	岡 田 元 一	大 野 章	嶋 村 忠 義

#### 4, 公 民 館

公民館の設置に関する条例の制定によつて、12の公民館が設置され、内1館を本館として教育委員会内に置き、他の11の公民館を分館とした。本館は分館を総括する機能として位置づけられた。

しかし、経費の面においてすべてを町予算でまかなうことはむずかしく、一定額の施設管理費、活動費などを配分し、不足分は町下の負担によつて補っている。

公民館では、基本行事として成人男子の講座を設けることを主眼としているが、非常にむずかしい実状にある。

以下、年次別に施策の重点と特記事項を記載し、10年を振り返つてみることにする。

第31表 公民館設置条例の抜粋

中央公民館（本館）	久万町教育委員会	町の全域
久万公民館	大字久万町甲483番地	久万小学校
明神	大字東明神甲725番地の1	明神小学校区
野尻	大字野尻甲190番地	野尻・宮の前
二名	大字二名甲1998番地	大字二名
露峰	大字露峰甲1357番地	大字露峰（落合除く）
父野川	大字父野川甲557番地	大字父野川
落合	大字露峰甲2517番地の1	落合
下畑野川	大字下畑野川甲369番地の2	大字下畑野川
上畑野川	大字上畑野川甲521番地	大字上畑野川
上直瀬	大字上直瀬甲2901番地	大字上直瀬
下直瀬	大字下直瀬甲5242番地	大字下直瀬

昭和34年度

- 1, 条例規則の制定
- 2, 社会教育職員の職務分掌と総合機能の強化。
- 3, 社会教育団体の統合への働きかけ。
- 4, 青年・婦人学級開設準備。
- 5, 未移管の公民館施設の町移管と位置づけ。  
（父二峰地区4館，野尻の1館の移管手続をする）

昭和35年度

- 1, 勤労青年教育を振興し，青年団の体質改善に努める。（勤労青年実態調査の実施）
- 2, 公民館の基本活動の振興。
- 3, 婦人学級の内容を充実し，婦人団体の自主活動を盛んにする。
- 4, 自治の理解を深める。（町政懇談会など）
- 5, 秋祭り統一への働きかけ。

昭和36年度

- 1, 幼児学級の施設の充実。（郡婦人会として県へ陳情する。）
- 2, 勤労青年の職業教育の徹底及び就職・進学対策。（職場訪問など始める）
- 3, 農林業振興の基本対策の確立（調査・援助）
- 4, 結婚改善運動の推進，（公民館結婚を奨励し，町より記念アルバムを贈ることにする）

- 5, 広報活動の充実。

#### 昭和37年度

- 1, 農業構造改善事業の理解と推進
- 2, 男子成人教育の振興。(成人学級講座)
- 3, 新生活運動の推進。(小集団学級の開設)
- 4, 結婚改善運動の推進。
- 5, 久万町体操の設定と推進。(体育指導委員に委託する。)

#### 昭和38年度

- 1, 重点指導地区を指定し、充実をはかる。
- 2, 分館活動の充実。(1館1課題の推進)
- 3, 婦人学級、生活学校の内容充実。(学習計画・参加者の拡大)
- 4, 生活実態調査の実施。
  - ① 人口の推進と経済生活
  - ② 消費生活の実態
  - ③ 健康生活
- 5, 青年団・婦人会・PTAの育成

#### 昭和39年度

- 1, 社会教育体制の確立。(中央公民館と分館)・関係団体、各機関との連携)
- 2, 社会通信教育の奨励。
- 3, 幼児教育の充実。(隔日保育を全日保育にするための働きかけ)
- 4, 文化財愛護精神の普及。
- 5, 貯蓄運動の推進。(消費ムードの反省と計画経済の涵養)

#### 昭和40年度

- 1, 公民館、PTAが一体になって愛護班活動を推進する。
- 2, 分館活動の充実をはかるため、分館の活動組織の強化をはかる。  
(公民館費100円拠出運動の推進・部活動の活発化)
- 3, 社会体育の充実。(体育委員の設置)
- 4, 青年団分団活動の充実に努力する。
- 5, 常時、啓発目標を定める。
  - (1) 時間の励行
  - (2) 食前食後の手洗いの励行
  - (3) あいさつの実行

昭和41年度

- 1, 青少年の健全育成をはかる。(愛護班活動推進の強化・家庭教育の振興)
- 2, 体力づくりの推進。(食生活の改善・社会体育振興)
- 3, 分館活動の強化。(部活動の活発化)
- 4, 社会道徳の高揚。(時間を守る運動の推進)
- 5, 社会教育団体の充実育成。(PTA, 婦人会, 青年団)

昭和42年度

- 1, 社会道徳の高揚。(遊法, 和敬, 奉仕)
- 2, 読書活動の推進。(グループに重点を置く。41年11月畑野川地域が県図書館配本駐軍場に指定される。)
- 3, 成人教育の振興。(優良木材の生産を旨として, 枝打ち講習会を17会場で開催)
- 4, 家庭教育の推進。(家庭の日「毎月5日」の推進・成人式の服装の簡素化)

昭和43年度

- 1, 青少年の健全育成。(明るい家庭づくり・愛護班活動の推進・青少年保護条例の趣旨徹底)
- 2, 社会道徳の高揚。(時間を守る・河川や公共の場所を美しくする・花いっぱい運動の推進)
- 3, 文化活動の推進。(読書グループの育成・久万郷土会の発足)
- 4, 体力づくりの推進。(麦を食べよう・1日1回体操をしよう。)
- 5, 分館活動の充実(特色ある分館づくり・研究公民館の指定「下畑野川公民館」)
- 6, 社会教育の効果を高めるために, 総合教育推進協議会を結成。(43,7)

町の実行目標

- 1, 時間を守りましょう
- 1, 明るいあいさつをかわしましょう
- 1, 川にごみを捨てないようにしましょう
- 1, 麦を食べましょう
- 1, 1日1回体操をしましょう

第32表 歴代公民館長・主事一覧表 (42.12.現在)

館名	館長	就任	主事	就任	館歴建築年月
久万公民館	高岡貞一郎	昭30, 2	土居 重喜	昭30, 4	久万造林創始者・井部栄 範翁40年忌に記念館と して建築し久万町に寄贈  久万公民館として発足
	土居 重喜 (館長引継ぎ)	30, 6	山口伊佐雄	34, 6	
	相原 芳太	31, 4	日野 嘉彦	38, 7	
	山之内敬義 太田 正志	34, 6 35, 10	菅 恒治	40, 4	
野尻公民館	河野伊世雄	28, 10	河野 修 (副館長)	28, 10	昭和28年10月建築
	大野 信之	30, 4	宮崎美寿子 ( " )	30, 4	
	八木修一郎 奥村 進	34, 4 36, 4	奥村 進 真木 孝志	34, 4 36, 4	
	石田佐々雄 露口 隆市 田中 執 山之内 肇	31, 11 32, 7 34, 4 39, 4	小倉 晋 金子佐々雄	34, 7 39, 4	
下畑野川 公民館	岡 譲	23, 12	渡部鬼子雄	23, 12	昭和23年11月建築  昭和39年11月久万面 河線道路開通のため現在 地へ移転
	大野 繁雄	28, 2	山之内嘉秋	28, 2	
	高橋 登	30, 4	日野 一清	30, 4	
	大西 清一	32, 3	辻田 耕三	32, 3	
	岡 譲	33, 2	大西武志	33, 2	
	織川 誠	33, 12	佐伯 公康	33, 12	
	西山 勇	35, 4	山崎 時雄	35, 4	
	西森 匠	38, 4	日野 益博	39, 3	
	渡部 新雄	39, 4	西山 保	43, 4	
上畑野川 公民館	渡部 伝	25, 3	小倉 清	25, 3	昭和25年3月建築 (畑小校庭)  昭和43年8月移転新築
	稻田 利長	27, 4	稻田 福富	27, 4	
	大野美奈夫	29, 4	前島 寿夫	29, 4	
	稻田 利長	30, 4	小倉 清	31, 4	
	尾花 進	31, 4	前島 寿夫	32, 4	
	小倉 清	34, 4	渡部 盛勝	33, 4	
	石田多美雄	39, 4	山内 晃	35, 4	
	尾花 豊	43, 4	高木 富平	37, 4	
			渡部 淳一	39, 4	
		渡部 武徳	41, 4		
		高木 富平	43, 4		



館名	館長	就任	主事	就任	館歴建築年月
上直瀬 公民館	菅 薫明	昭25, 4	小黒 富夫	昭25, 4	昭和25年4月建築
	小椋 秀雄	30, 4	海原新太郎	29, 4	
	小倉玄三郎	35, 4	小倉 達郎	30, 4	
	菅 良太郎	36, 4	大野 卓	35, 4	
	大野 卓	37, 4	小倉 達郎	37, 4	
	石丸 剛	39, 4	大野 良一 長山 哲三 長山喜久雄	37, 4 41, 4 43, 4	
下直瀬 公民館	菅 万夫	25, 10	段ノ上 明	25, 10	昭和25年10月建築
	福山 柳一	29, 4	松本 鶴三	29, 4	昭和29年9月瓦ぶきにする。
	光田 繁光	31, 4	石崎 源蔵	31, 4	昭和40年2月, 座板その他 取り替え
	菅 利三郎	35, 4	岡 作太郎	35, 4	
	菅 万太郎	37, 4	菅 俊三	37, 4	
	石崎 源蔵	39, 4	板崎熊太郎	39, 4	
	光田 繁光	41, 4			
落合 公民館	中田 千鶴	34, 4	岡部 義信	34, 4	昭和31年11月建築
	大野 麻男	36, 4	三輪出輝光	37, 4	昭和34年5月, 公民館に認定
	上野左衛門	38, 4			
露峰 公民館	植田 要	25, 4	谷口 清一	25, 4	昭和25年4月, 養蚕会堂 を公民館に転用, 昭和31 年6月建築
	恩地 義一	33, 4	中岡 登	33, 4	
	田中 武雄	37, 4	大野 勘蔵	34, 12	
	川本 道宗	40, 4	恩地 繁	41, 3	
	西岡 忠義	41, 6	坂本 富保	41, 4	
父野川 公民館	上岡 照雄	30, 4	河野 常喜	30, 4	昭和30年10月建築
	玉水 義浦	36, 4	河野 幸義	32, 4	
	河野 常喜	38, 4	玉泉 猛	40, 4	
	河野 幸義	40, 4	中野 久	43, 4	
	玉泉 猛	42, 8			
二名 公民館	久保米四郎	32, 11	高岡 信栄	32, 11	昭和32年11月建築
	竹井 薫	37, 4	木村 道雄	37, 4	
	日野 芳雄	40, 5	岡田 元一	38, 4	

館名	館長	就任	主事	就任	館歴	建築年月
			日野 秀雄	昭39, 4		
			土居 康男	40, 5		
			西山 潔	43, 4		

ア 図書活動

合併後、久万公民館の二階の一部を中央公民館の図書室として借り、旧3か町村の蔵書を集めて住民の利用に供していた。42年度から、全町的な利用と読書活動の促進をはかるためにグループづくりに重点を置き、移動文庫「こぼと号」と名づけ、グループに巡回配本を行うようになった。

地域の読書活動が盛んになるために町内各小中学校から一名ずつ読書推進委員をとり努力してもらっている。

昭和41年、県立図書館自動車文庫の配本駐車場として下畑野川が指定された。

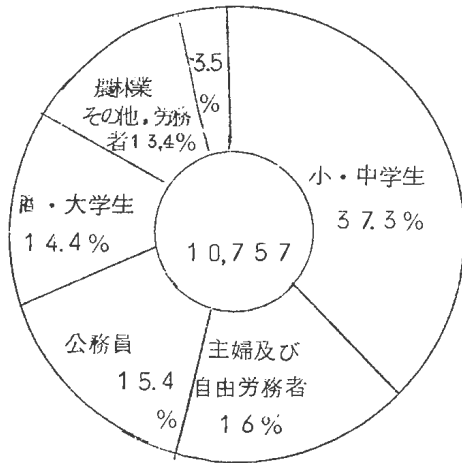
現在14グループが結成されている。

また町図書利用グループも（現在久万地区12,川瀬地区16,父二峰地区6,明神地区4）が結成されている。

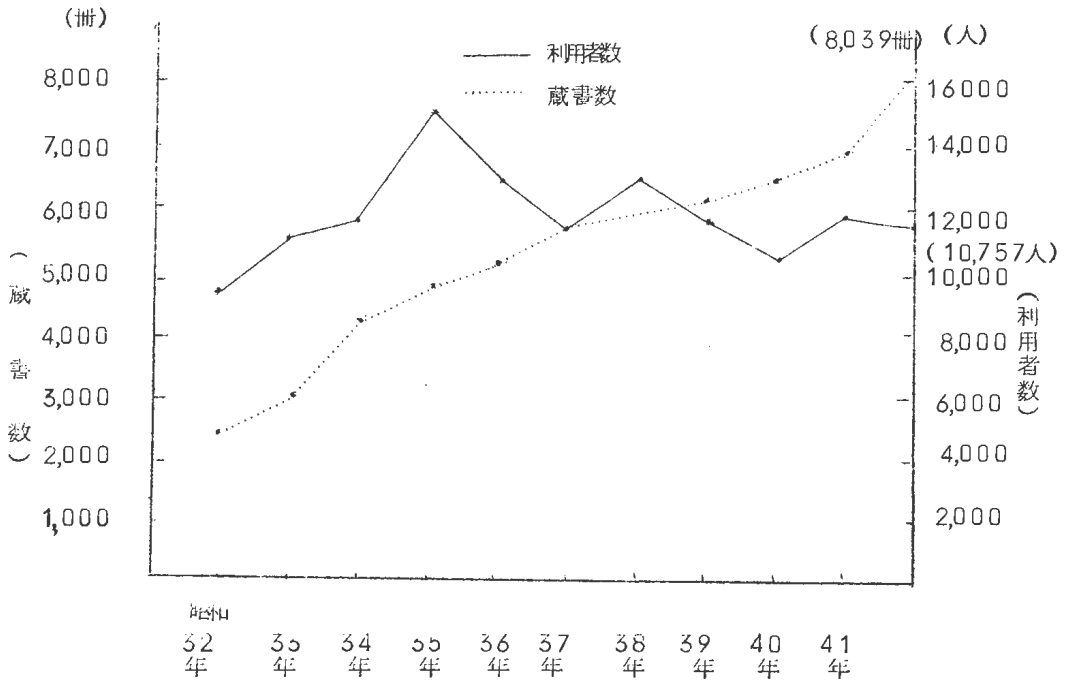
第33表 昭和42年度職業別利用者数

職 種 利 用 別	生	交	宗	公	そ	不	小	中	高	大	計
	産 労 務	通 商 業	教	務 員	他 有 業	明 無 職	学 生	学 生	校 生	学 生	
男	563	210	148	796	158	277	462	824	524	34	3,796
女	708	154	29	858	106	1,178	561	2,191	1,155	21	6,961
計	1,271	364	177	1,654	264	1,455	1,023	3,015	1,479	55	10,757

同上百分率比較表  
商業交通業



図書利用数  
蔵書数  
推移一覽表 (巡回文庫は除く)



## イ 広 報 活 動

昭和36年，総工費330万円によつて出力500W，トランペット方式の有線放送施設が久万地区に新設された。

同37年，老朽化した明神地区有線放送を総工費290万円をかけ，出力450Wのものに大改修した

同39年，総工費255万円で父二峰地区の外線工事及び電柱など取替え大改修を行なつた。

同年，総工費45万円で嵯峨山地区の有線放送を新設した。

同41年，榎谷地区の増幅器（アンプ）も老朽化していたので5.6万円で改修した。

同43年，総工費120万円で老朽化した父二峰地区有線放送の本体を出力450Wに改修した。

これらの有線放送は，一般行政の伝達，農事放送，教育放送などに使用されている。

また，一方広報「久万町だより」も，公民館報と一般行政報とを兼ねて，月1回を目標に，3,300部を発刊している。

昭和41年には，愛媛県下の広報コンクールに特選となり，同42年度にも佳作に入選した。

## 5. 幼 児 教 育

旧町村の幼児学級は，新町に引き継がれ教育委員会が，管理することになつた。昭和34年7月，幼児学級の設置及び運営に関する規則が制定され，定められた幼児学級の運営要項にもとづき，町内同一保育体制が確立された。

しかし，施設内容については，若干の相違があつた。一日も早く同じ水準にするために父母の会の協力を得ながら，充実に力を注いだ。

一方保育内容についても，毎年各園を巡回し幼児教育の振興について研究会を開催した。特に39年度からは，保母共進研究課題をもち，6領域を年次的に研究している。

また，保育内容については，町内のバランスと6領域の調和的な発達をねらいとして，4月に全保母が集まり，保育計画をたてて同一保育につとめている。

時代の進歩と共にいずれの法にも準拠せず開設していた幼児学級も，昭和35年4月，久万幼児学級は幼稚園に，昭和37年には，二名，39年には明神，40年に直瀬，41年に露峰，42年に畑野川と厚生省所管の僻地保育所に切換えられ，福祉衛生課が管理していたが，昭和42年度からは，再び教育委員会が管理するようになった。

保育所の性格を生かしながら幼稚園の指導要領に基づいて，保育に当たっている。

以下各園の沿革を記すことにする。

第34表 久万幼稚園

年度	園長氏名	保母氏名 ◎主任保母	父母の会 会長氏名	学 級 数	幼児数		特記事項	父母の会施設 設備充実に協力
					保育料			
34	西内 清己	◎長門恵美子 武田 冨子	大野 定雄	2	84	150	中央地区幼児教育 研究大会開催	戸外遊具施設布 団一ながれ
35	黒田英雄	◎長門恵美子 吉岡 寛子	井上 幸雄	2	87	200	久万町立久万幼稚 園となる。 社会教育法10周 年記念として表彰	戸外遊具施設 オルガン 2台
36	"	◎長門恵美子 吉岡 寛子 山口美津子	安藤常太郎	2	91	200	第1回郡内幼児教 育研究大会開催	大型紙芝居 2組 手洗い場 足洗い場設備
37	"	◎長門恵美子 岸本富士子 山口美津子	山之内正昭	3	93	400	郡内町内幼児教育 研究会開催	テレビ 1台
38	"	"	河野 淑子	3	81	400	パン・ミルク 学校給食開始町内 幼児教育研究会開 催	布製雨がさ 40本
39	"	◎長門恵美子 岸本富士子 井上 楳子	棟田 静子	2	79	400	郡内幼児教育研究 大会開催	
40	"	◎長門恵美子 岸本富士子 井上 楳子 渡部美智恵	大西美佐雄	2	97	400	町内幼児教育研究 大会	ピアノ 1台 プレーヤー 1台
41	"	◎長門恵美子 相原アサ子 井 楳子 井上 子	和田 正	2	93	400	電話取り付け 町内幼児教育研究 大会開催	スプーン全幼 児 柱時計 2こ

年 度	園長氏名	保母氏名 ◎主任保母	父母の会 会長氏名	学級 数	幼児数 保育料		特記事項	父母の会施設 備充実協力
42	小田 巖孝	◎長門恵美子 相原アサ子 梅井 臣子 井上 恒子	藤田 薫	2	68	400	3時まで保育開始 学校完全給食 町内幼児教育研 究大会開催	室内蛍光灯
43	"	◎長門恵美子 相原アサ子 森原智愛子 北岡 章子	奥木 孝志	2	78	400	土曜日給食開始	

第35表 畑野川保育所

年 度	園長氏名	保母氏名 ◎主任保母	父母の会 会長氏名	学級 数	幼児数 保育料		特記事項	父母の会施設 備充実協力
34	山口 盛継	中村 良子	石丸 享	2	56	100	幼児学級園舎新 築落成 町内幼児教育研究会	園舎落成
35	"	"	日野 繁	2	61	100		屋外遊具寄附
36	"	"	石丸 享	2	49	100	町内幼児教育研 究会	
37	藤井 明雄	"	日野 統	2	43	200	隔日制になる	ローラーリッジ 藤棚作り
38	"	八塚ミキ子	渡部 昭一	2	32	200	町内幼児教育研 究会	
39	"	"	石田多美雄	1	28	400	全日制になる	
40	田中 信之	"	日野 常行	1	33	400		花壇の造成
41	"	神谷 紀子	石田多美雄	1	30	400		砂場・藤棚の修 理
42	"	◎神谷 紀子 竹森 和枝	稲田 福富	1	28	300	幻 フィルム購 入。給食用水道 パイプ新設 バスケットボール台 の設置	

年度	園長氏名	保母氏名 ◎主任保母	父母の会 会長氏名	学級数	幼児数 保育料	特記事項	父母の会施設 備充実に協力
43	田中 信之	◎神谷 紀子 竹森 和枝	大田 武志	1	25	町内幼児教育研 究会	レコード購入 成績展示板作り
					300		

第36表 明神保育所

年 度	園長氏名	保母氏名 ◎主任保母	父母の会 会長氏名	学級数	幼児数 保育料	特記事項	父母の会施設 備充実に協力
34	西本 玉繁	◎長門恵美子 父田 章子	松永 一郎	1	47		戸外遊具寄付
					100		
35	"	◎山内 奈那	正岡 則	1	49		シーソー、ユリ カゴ式ブランコ 寄付
					100		
36	渡部 綱賀	◎沖 明子	高橋進治郎	1	40	新園舎一棟落成 郡幼児教育研究会	室内遊具寄付
					100		
37		◎八塚ミキ子 野村 浄子	山ノ内 肇	2	47	全日制と成る。	取り付け大鏡 寄付
					400		
38	"	◎渡部 良子	新崎一二三	1	29		事務机一台寄附
					400		
39	"	◎渡部 良子 山口美津子	正岡 昌則	2	47	へき地保育所とし て発足。	オルガン一組寄 付
					300		
40	"	"	高橋進治郎	2	26	完全給食実施	テレビ一台寄付
					300		
41	"	◎渡部 良子 金子 順子	加藤 学	1	31	明神友葉幼児教育 学級併設 郡幼児教育研究会	チャイルド ハウス寄付
					300		
42	"	"	露口 靖	1	24	明神婦人学級併設	ユリカゴ式ブラン コ取り替え
					300		
43	"	"	松田 寿明	1	30	明神家庭教育学級 の併設	ピアノ町、P TA寄付
					300		

第37表 直瀬保育所

年度	園長氏名	保育氏名 ◎主任保育	父母の会 会長氏名	学級数	幼児数 保育料		特記事項	父母の会施設設備 充実に協力
34	小原 秀雄 大野 政友	柳垣春代子	菅 良太郎	2	62	100	園舎落成 隔日制 町内研修会	戸外遊具数点 砂場づくり
35	高橋 盛一	"	長山 哲三	2	54	100	町内研修会	簡易楽器数点 垣根づくり
36	"	"	大野 卓	2	48	100		清掃用具戸棚 大型杭木の一部 かさだな
37	和田 盛重	"	小倉 鶴一	2	56	200	町内研修会	
38	"	"	大野 利行	2	34	200		テレビ 一台
39	高橋 滋	"	小倉 達郎	2	35	400	町内研修会 全日制になる	
40	"	"	大野 卓	1	35	300	僻地保育所になる	幻灯機一台
41	"	◎柳垣春代子 大野 澄子	大野 里利	1	27	300		遊具の修理と塗装 観察池
42	平松 幸夫	"	平岡新太郎	1	29	300	給食はじまる 郡内研修会	ジャンピング一台
43	"	"	菅 俊三	1	29	300		



第38表 露峰保育所

年度	園長氏名	保母氏名 ◎主任保母	父母の会 会長氏名	学 級 数	幼 稚 数 保 料	特記事項	父母の会施設設 備充実協力
34	竹内 智夫	川崎トミ子			20 100	7月より 週3回開園	
35	土屋 政則	〃	西岡 忠義	1	41 100	運動会、学芸会 に参加	電源とりついて シングルジム すべり台遊具充 実
36	〃	川崎トミ子 山田ツタ子	〃		25 100		幼児室改修
37	〃	上岡 信子	中岡 義隆	1	27 200	隔日制になる	
38	〃	野村 浮子	中岡 登	1	15 200		
39	高岸 勝	田原アサ子	中岡 豊致	1	24 400	全日制になる	室内ブランコ スライド 紙芝居
40	〃	〃	河野 幸義	1	22 400		かべにベニヤ板 をする
41	北村 実	◎藤原 順子 光石 泰子	白石 勝	2	36 300	露峰僻地保育所 として発足 二年保育・完全 給食	保育室塗装作業
42	〃	〃	玉泉 猛	2	37 300	町内保育所研究 会開催	テレビ、ステレオ プロパンガスの 寄贈・テープレコ ーター
43	〃	〃	中野 久	2	34 300		

第39表 二名保育所

年度	園長氏名	保育氏名 ◎主任保育	父母の会 会長氏名	学級数	幼児数 保育料		特記事項	父母の会施設設 備充実に協力
34	大野 武男	川崎トミ子		1	26	週3回開園	幼児机(8)腰掛(32) ストーブ(1) 雨がさ(26)等	
					100			
35	"	"		1	22		ラジオ、紙芝居大型 つみき、楽器、とび ばこ、指人形等	
					100			
36	"	久保由美子		1	20			
					100			
37		久保由美子 ◎桑原里与子		2	30	僻地保育所とし て発足 2年保育		
					100			
38	小原伊十郎	久保由美子 ◎重松 民子	竹内 友長	2	31			
					300			
39	"	◎玉泉 恵子 岩口 礼子	"	2	34		テレビ	
					300			
40	"	◎玉泉 恵子 光石 長子	"	2	28			
					300			
41	"	◎玉泉 恵子 谷口 朝子	"	2	29	保育所園舎落成 完全給食実施 町内幼児教育研 修会開催	ピアノ、ステレオ 幻灯機、屋外すべり 台、ブランコ、シー ソー、太鼓等	
					300			
42	"	"	"	2	26			
					300			
43	山本朝太郎	"	宮脇 弘	2	16			
					300			

## 6 文化財

祖先の跡をしのぶ数多くの文化遺産は、我が国の美しい自然と相まって、諸外国のひとつひとつの羨望の的となつている。しかし、時代の推移に伴つて文化財に対する国民の関心にも消長があつた。

久万町では、どのようなものが文化財として指定されているか記することにする。

第40表 久万町内指定文化財一覧表

部 門	名 称	指定年月日	摘 要	所在地及び所有者
天然記念物	伊予すだれ	昭和24年 9月17日 県指定	この伊予すだれは、速く平安朝の昔から宮延において愛用されていた事が源氏物語や枕草子などに記されている。 経約2ミリ、高さ約2メートル、節間約20センチ面積六反6歩	久万町大字露峰 西野川 久万町
名勝地	古岩屋	昭和19年 11月7日 国指定	昭和39年3月21日、県立自然公園に指定、円錐状の礫岩峰が数座併立し、その高さは、いずれも、30～40メートル、頂上には、老松が茂り、イワヒバ、セキコク、ツタ、など着生し、特異な風景である。	久万町大字直瀬 久万町
有形文化財	33灯台	昭和39年 3月26日 県指定	室町中期の嘉吉3年の作品で、県下最古の鉄製灯台であり、工芸的にすぐれている。 総高140センチ、33個の輪然の皿掛けをとりつけている。	久万町菅生山 大宝寺 大西 完信
史 跡	仰西築	昭和25年 10月10日 県指定	元禄年間に仰西翁が私財を投じて、堅固な安山岩を開削して水路をつくた。 長さ57メートル、幅2.2メートル 深さ1.5メートル山之内彦左衛門光実 元禄11年1月26日没	久万町入野
有形文化財	八幡神社 本殿1棟 拝殿1棟	昭和43年 3月8日 県指定	本殿寛政元年(1789)の建築 拝殿寛政2年(1790)の建築 建築年代を明らかにする棟札と大工の使用 尺杖が残っている。	久万町大字直瀬 下直瀬部落
名勝地	菅生山	昭和43年 3月8日 県指定	山道には、巨大な老杉が茂っており仁王門、凶無塚、大いちょう、本堂客殿などがある。寺院と四辺の緑の調和もまた格別である。またかえでの群生や100種類に及ぶ山地植物が自生しており価値が高い。	久万町大字菅生 菅生山 大西 完信
有形文化財	30番神	昭和39年 1月15日 町指定	鎌倉時代の逸物であり、30全部そはつて残っているのはめずらしいと言われている。同時代の素朴な彩色方法を知ることができる。	上 同

部門	名称	指定年月日	摘要	所在地及び所有者
無形文化財	川瀬歌舞伎	昭和42年 12月28日 町指定	川瀬歌舞伎がいつの時代から始まつたかは明らかでないが、文化年間ころにその起源があるようである。安政年間には、各地の巡業記録もある。現在保存会が組織されて、伝承につとめている。	久万町大字直瀬 保存会長 松本 鶴三
有形文化財	三島神社 拝殿一棟	昭和37年 11月1日 県指定 昭和36年12月15日 町指定	慶長8年佃十成によつて再建されたことになっている桃山時代の高尙、雄渾な面影を残している。	久万町大字菅生 三島神社

第41表 文化財保護委員一覧表

委員氏名	住所	在職期間
宇都宮 音吉	久万	自 昭 36, 11, 1 至 " 38, 12, 8
大野 憲	"	自 " 36, 11, 1 至 " 42, 3, 31
宇都宮 佐市	東明神	自 " 36, 12, 1 至 現 委 員
松本 重太郎	上高教諭	自 " 36, 11, 1 至 " 39, 1, 1
光田 繁光	下直海	自 " 36, 12, 1 至 現 委 員
滝枝 松雄	露峰	自 " 36, 12, 1 至 現 委 員
名智 天之	上畑野川	自 " 39, 1, 1 至 現 委 員
宮脇 潔	二名	自 " 39, 1, 1 至 現 委 員
高井 頼元	久万	自 " 39, 1, 1 至 " 40, 1, 1
土居 正一	久万中学校	自 " 41, 4, 1 至 現 委 員
大西 利康	菅生	自 " 43, 4, 1 至 現 委 員

## 7. 社会体育

「社会体育」ということばは、10年を迎えてようやく人々の耳に慣れてきたようである。それだけに歴史の浅い社会体育には、述べるべきほどの進展もみられないが、土台づくりとしての10年の動きは見逃すことはできない。

昭和34年から36年の間は、合併後の諸条件整備が急がれ、社会体育に対してはほとんど目が向けられず、わずかに、合併前の旧町村単位で体育大会が囀かれていた程度である。

昭和37年、スポーツ振興法により、体育指導委員制度が誕生した。委員は市町村教委の任命制となり、(これまでは市町村推せん、県教委任命)町内の各地区から別表の通り5名の体育指導委員が任命された。しかしながら、初年度のことであったため、指導委員の活動のねらいや、指導委員自体の研修に重点がおかれた。活動面では、今日も続いているがバレーボール大会、野球大会、卓球大会が開催され多数の参加を得た。

38年には指導委員体制も強化され、県下初の女性1人を加えて6名となった。活動も前年を反省して一歩前進し、新にソフトボールを加えた。また、予算も別表のごとく増額された。

39年には、忘れてはならないものとしてオリンピック東京大会の聖火リレーがある。前日までの曇り空は一変して雲一つない聖火日和となり、9月14日の伊予路は聖火一色に塗りつぶされた。三坂峠で定刻11時4分に中継された聖火は、六部堂・横道・本明神・仰西・久万・野尻・二瀬川・落合の9区間を250名余りの役員、ランナーに守られながら通過し、12時21分責任を果たして美川へ引き継がれた。沿道には人波が続き、町にはオリンピック東京大会の祝意とよろこびが溢れていた。

この聖火と並んで待筆すべきものに片山美佐子のオリンピックの槍投げ出場がある。郷土の生んだ選手が晴れの舞台に立つとあって、9月10日には歓迎会が開かれた。

東京大会では決勝進出を果たし、4年後のメキシコ大会での活躍が期待されたがひざの故障により昭和43年9月引退した。聖火を迎えた当時のことを想起するために久万町だより「第45号」を引用してみよう。久万町長のことは「オリンピックの聖火が、秋の久万路を通った感激は当町から片山美佐子嬢を出しているだけに格別に深いものがあった。ギリシヤから延々何千キロも各国の道程を経て、現実私たちの目の前に輝き、しかも市内の青少年を中心としたランナーたちによって運ばれているのを見た時、この火が東京大会の聖火台で赤々と燃え続けるであろうことを想像し、今更のように日本の国力回復の偉大さを楽しみじみと感じた。1万4千の久万町民の熱意が、いろいろの形となって東京大会に参加しているという実感が一杯となり、町民の皆様のすばらしいご協力に対して心から感謝の誠を捧げたい。」また、県下のランナーで女子青年

はる名だけという栄光に輝やいたひとり、大野喜美代さんは、「随走者の中で女子青年は、県下で私たちる人だけと知った時、責任の重大さに緊張すると共に大きな誇りを感じました。選ばれた誇りと完走できた自信は、私にとって一生の思い出であり心と生活の支えとなることでしょう」と述べている。このことばが示すように、ランナーに選ばれた207名の若人には今も思い出として残っているにちがいない。

オリンピックをきっかけに、国内におけるスポーツへの関心は急激に高まっていった。

久万町において、本格的に社会体育と取り組むようになったのは41年である。野球、ソフトバレー、盆おどり講習、卓球、スキー、青年・婦人体育大会と、ほぼ定期大会の体制が整い、参加数も年々多くなってきた。

この年は青少年教育キャンプが千木が原において開かれた。8月2日から8日までを2期にわけて開き、県下各地から200名余りの青少年が参加し、楽しみの中にも規律あるキャンプ生活を心ゆくまで味わった。さらに冬季のスポーツとして、第1回目の町内柔剣道大会が開催された。久万の地形・気象が生んだ伝統を誇る柔剣道とあって、予想外の参加申し込みがあり、事務局もうれしい悲鳴をあげたのである。参加数400名、優勝旗4本、トロフィー13個とまことに壮観であった。この柔剣道大会は、以来会場持ちまわりとし、地域の振興をめざして今年度第4回をむかえようとしている。

なお、予算面では、この年に、地方スポーツモデル町村の指定を受け、国庫補助等により前年の倍額となった。こうした諸条件整備により、社会体育も大衆化の方向をたどりだしたのである。

41年になると体育指導委員の年間約40回の出動と、日夜にわたる活動をみるまでになった。この年の新たな行事には、直瀬婦人会の県婦人バレー大会出場、県青年ソフト大会への父二峰青年初参加、第1回久万町町民運動会、久万町青年団の愛媛駅伝初参加等があり、ますます盛んになっていった。一方施設面では、念願のスキー場が笛ヶ滝公園に完成した。200メートルのスロープ2本と初・中級コースができた。

1月29日、スキー場開きをしたが、この年は雪が少なくあまり滑べる機会を得られなかったことはたいへん残念であった。このスキー場開きと切り離して忘れられない悲しいでき事に、前小倉総一郎教育長の急逝がある。彼は、日ごろから特にスポーツに深い関心と理解を示し、社会体育の適切な指導助言をしていた。自らも率先して、スポーツを愛好し、スキー場開きでは自分もすべり、何度かころんで皆を笑わせていた。その深夜心臓の発作により急逝した。こうした悲しみの内に閉じた41年度ではあったが、2ケ年連続のモデル地区指定を受け、備品もどんどん充実することができた。

42年度には、10種余りの定期大会の外に、国体旗リレー、NHK巡回ラジオ体操があり、

多岐の協力を得ることができた。

このように、全町の行事が年々盛大になるにつれて、町内各地区でのスポーツ活動も盛んとなり、町民のほとんどが参加するようになった。久万町がモデル地区として指定している久万・野尻公民館区の早朝ソフトボール大会は、7月から9月までの間を、毎日曜日午前6時プレイボールで始められたが、早朝にもかかわらず、応援者もあり、大成功のうちに終わった。健康づくりと体力づくりに役立つため、今年も行なわれ熱戦を展開して8月30日終了した。また、全人スポーツのモデル地区として、露峰公民館の館内体育祭をあげることができる。この大会は40年に始まり、今年で第4回を終わったが、夏季はソフト、バレー、キックを始めとして各種運動会を開き、冬季は、卓球、柔剣道、囲碁、将棋等を行なう。この大会当日には、露峰公民館内のほとんどの人が集まり、多くの参加者をみている。今日までに盛り上げた役員の方々の苦勞もさることながら、住民の理解と積極的参加は、町内各館の指標として大きな意義をもっている。さらに42年の輝かしてでき事として、県教委よりの表彰がある。団体表彰として久万町体育指導委員協議会が、その活やくを認められ受賞した。さらに、個人として、10年の長きにわたって活躍し、今日を築きあげた山之内正昭と佐伯正俊が同時に表彰された。このことは久万町としても大きな誇りとするところであった。こうして年々発展を遂げてきた社会体育も、43年を迎えて新しい方向へその歩みを変えつつある。

社会体育本来のねらいは健全な人づくりである。スポーツを通しての育成を主眼としてきた今日までの方向から、保健、栄養を加えての総合的体力づくりへと転じてきている。今年からの新しい方向であるといえよう。

町民の国民健康保険医療費は8,800万円を越えており、生活費の中でしめるこの割合を考えると、今こそ真剣に体力づくりと取り組まなくてはならないことを痛感する。県から体力づくり指定市町村として指定を受けるとともに、久万町では「体力づくりの町」を宣言し、全機関総合して目的達成に向かうことになった。

#### 宣 言

幸福な生活の基本的条件が、健康な心身にあることは万人の認めるところであります。

久万町では町民の総意により「体力づくりの町久万町」を宣言し、町民一致協力して健康を守るため保健栄養改善、社会体育振興に努力するものであります。

右宣言する。

昭和43年7月22日

久万町体力づくり推進協議会

この成果はすべて今後にかかっているが、久万町の社会体育も10年を迎えてようやく一大転換期に至った。総合教育の中で果たさなくてはならない社会体育の役割は、きわめて大きいと考える。今日までに振興したのは、体育指導委員の積極的協力によるものであり、ここに感謝するとともに今後の活やくを期待してやまない。

第42表

年度別社会体育予算

年 度	予 算
34	50,000
35	50,000
36	60,000
37	70,000
38	105,000
39	154,000
40	284,000
41	343,000
42	577,000
43	1,142,000

第43表

体育指導委員一覧表

委員氏名	住 所	在 任 期 間
山之内正昭	久 万	自昭37. 4. 1 現委員
佐伯正俊	久 万	自昭37. 4. 1 現委員
大西武志	下畑野川	自昭37. 4. 1 至38. 3. 31
関井義弘	二 名	自昭37. 4. 1 至38. 3. 31
中里史郎	久 万	自昭37. 4. 1 現委員
和泉司人	二 名	自昭38. 4. 1 至39. 9. 30
岡 徳 広	下畑野川	自昭38. 7. 8 現委員
日野西カツ子	直 瀬	自昭38. 7. 8 至42. 3. 31
石丸 司	二 名	自昭39. 10. 1 現委員
大下 保	東明神	自昭41. 7. 1 現委員
岩城 岩雄	直 瀬	自昭42. 4. 1 現委員



## 8. 社会教育団体

### a 青年団

社会の激動は、青年団にもっとも顕著に現われているといえよう。合併と同時に、3単位団をもって協議会を組織し、足なみをそろえた。

合併当時の団員は、久万青年団(明神、久万、野尻の3分団)約150名、川瀬青年団(上直瀬、下直瀬、上畑野川、下畑野川の4分団)約120名、父二峰青年団(父野川、露崎、二名の3分団)約80名の350名であった。

しかし、団員の減少ははげしく、35年には父二峰の3分団が統合し、父二峰分団を結成したのをはじめ、野尻分団は休団し、39年には下直瀬分団が上直瀬分団と統合した。

36年、協議会は、久万町青年団を結成しスタートした。

そのころ、県段階において、県連青と愛青連の問題が深刻化し、単位団においても態度表明を余儀なくされた。そして討論の末、県連青は思想的に偏っており、正常な活動ができないことを確認した。38年、郡連合青年団は、県連青を脱退し、同時に解散した。

しかし、その後、せめて郡内の青年くらは、手をつなぐことが必要であるという考えのもとに、40年8月、上浮穴郡青年団協議会を組織した。

けれども、1度乱れだした歩調はなかなかそろわず、41年9月、またもや解散した。

そして、郡内の青年団は単独行動をとることとなり、消滅する青年団、県連青に復帰する青年団、中立をたもつ青年団などに分かれた。

41年10月5日、久万町青年団は美川村に続き愛媛県青年団連合会に加盟した。

42年1月31日、上浮穴連合青年団が再び編成され、同時に愛青連に加入した。これは休団していた柳谷・面河両青年団が発足し、小田町青年団も県連青を脱退して、上浮穴を1つの輪にしようと奮起したからである。

仲間の減少や組織の動揺によって青年団の土性骨が抜きとられたようにみえたが、40年父二峰分団が、初めて愛媛県駅伝大会に参加し、久万町青年団の根性を見せた。この事によって他の分団も奮起し、スポーツ青年団から、試練を求める青年団に変わっていった。久万町青年団は41年、42年と連続出場した。今年も上位進出をめざして練習に励んでいる。

また、町青年団、郡青年団でも駅伝を主催している。こういった活動によって年々仲間が団結をはかっている。

下畑野川分団は、学習活動や演劇活動、地域の奉仕活動等、活発な活動を続けており、久万町青年団の中心的役割を果たしている。

第44表

青年団役員一覽

役員 年度	団長	副 団 長		事務局長	団員 数
34	協議会長兼久万単位 団長 大野 隆則	川瀬単位団長 大野 正照	父二峰単位団長 宮脇 弘	池野 允基	350
35	協議会長兼川瀬単位 団長 菅 高夫	久万単位団長 真木 孝志	父二峰単位団長 玉水 寿清	/	/
36	大野 弘	岡山 真一	露口 津有子		
37	大野 健二	菅 忠夫	久保 由美子		
38	井上 徳義	成本 弘	山岡 順栄		
39	正岡 邦夫	小倉 憲雄	二神 栄子	窪田 正雄	157
40	大野 良一	大野 健二	石丸 京子	渡部 清美	153
41	渡部 清美	土居 紀弘	田村 信子	日野 益博	147
42	窪田 正雄	川井 安隆	大野 喜美代	岡田 範英	137
43	西尾 道尊	岡田 範英	日野 順子	田中 力	135

第45表

分 団 長 一 覽

分団名 年度	下畑野川	上畑野川	明 神	父二峰
34	山崎 時雄	渡部 利夫	宇都宮 春生	(二名) 健一 (石丸)
35	梶川 俊郎	渡部 雄一	大野 広	(二名) 新一 (岡山)
36	岡田 種広	小倉 忠一 小倉 正雄	西岡 正友	青木 俊和
37	日野 徹	小倉 幸雄	大野 健二	松下 純一
38	渡部 清美	藤原 正信	船本 政清	中村 拾六志
39	渡部 清美	石田 肇	小倉 鬼代美	寺岡 健
40	宮内 清美	小倉 憲雄	窪田 正雄	寺岡 健 土居 紀弘
41	日野 益博	八塚 昭栄	岡田 範英	西尾 道尊
42	渡部 繁明	和田 寺	和田 勝一	中田 健一
43	筒井 啓一	石田 信男	坂本 好直	岡山 秀雄

分団名 年度	露 崎	上 直 瀬	下 直 瀬	久 万	入野及野尻
34	村田 毅	大野寛十郎	菅 高夫	/	(野尻) 真木 孝志
35	中野 徹彦	菅 重雄	菅 忠夫		(野尻) 土居 愛明
36	(二名に統合)	大野 好美	菅 忠夫		
37	父 野 川	大野 利夫	小 椋 豊吉		
38	(34年度) 玉水 寿博	大野 利夫	小 椋 豊吉	井上 徳義	/
39	(35年度) 安部 勤	髙岡 正俊	小 椋 豊吉	井上 徳義	
40	(36年露崎と 共に二名に統 合)	大野 良一	菅 満敏 (上直瀬に統合)	休 団	
41	/	大野 国雄	/	休 団	
42	/	大野 孝雄	/	小倉 徹	(入野)
43	/	大野 宣男	/	吉田 和輝	

## b 婦 人 会

新町村発足後の組織をどのようにすすめていくかについて話し合うため、昭和34年5月に各単位婦人会から代表者が集まり、統合準備会を開催した。

協議の結果、できる限り早く町一本の組織をつくる事、そのような意識をもち上げる事を確認し今後これに力を入れることを申し合わせた。ひとまず協議会を結成することになり、6月26日、結成大会を開催した。

さらに36年に意識統一をして、久万町婦人会を組織した。

しかしながら、組織は拡大されたが、会員意識も乏しく、人間関係も浅く、知り合う機会も少ないので、婦人新聞の発刊を始めたり、婦人運動会などを開催したりして、知り合う機会を作ることに努力した。

また、地域のリーダーの養成をはかるため、新生活学校を毎年開催し、各地域のリーダーが1か所に集まり約10日間程度学習した。(38年まで町1か所で開催)

これらのリーダーは、各支部に帰り、11公民館で婦人会支部組織を軸に、開設している婦人学級の推進に努力した。

その後、時代の進歩とともに婦人会活動の内容もこれに対応したものとなり、健康な消費生活のあり方、青少年健全育成、花いっぱい運動、河川美化、交通安全運動、健康問題などの学習活動と共に実践活動も活発に続けられた。

以下、年次別役員と主な活動及び努力点を記載し、10年間の活動をふり返ってみることにする。

第46表 久万町婦人会役員名簿及び努力点

年度	会 長	副 会 長	事務局 長	会 員 数	予 算	主 な 活 動 及 び 努 力 点
34	小 椋 ヒデ 越智とみ子 西内すみえ 小 椋 ヒデ 高岡 尚	(協議会) (久万) (明神) (川瀬) (父二峰)		1350	120000	町村合併にともない、久万、明神、川瀬、父二峰各単位婦人会の連合組織として、久万町婦人団体協議会を結成する。 ○学習活動の充実
35	小 椋 ヒデ 片岡 光子 橋 くみ子 名智 夔子 岡田 時子	(協議会) (久万) (明神) (川瀬) (父二峰)		1350	120000	久万町婦人団体協議会主催により、第1回久万町婦人運動会を開催する。(以後毎年開催) ○組織活動の充実
36	小 椋 ヒデ	名智 夔子 石田和歌子 山之内千鶴子	宮崎 美寿	1400	130000	久万、明神、川瀬、父二峰各単位婦人会を発展的に解散して、新たに久万町婦人会を結成する。 ○会員意識の確立と組織の充実
37	小 椋 ヒデ	宇部宮 勇	土居 千重	1201	121,431	○生活に結びつく会・活動の推進 ○組織の強化と学習活動の充実
38	小 椋 ヒデ	鈴木 登代 岡田 時子 菅 マサ子	土居 千重	1118	120,155	○生活設計の確立 ○生活運動の推進
39	小 椋 ヒデ	桃枝 露子 菅 マサ子	菅 敦子	848	122300	○くらしのくふう運動の推進 ○小集団グループの育成
40	岡田 時子	越智とみ子 秋田タマ子 金子 梅子	土居 静江	850	122500	○明るい家庭づくり運動の推進 ○美化運動の推進
41	岡田 時子	小倉 幸子 土居 千重 秋田タマ子	土居 静江	903	130000	○家庭教育の振興と学習組織の充実 ○組織の強化と他団体との連携を深める。
42	秋田タマ子	三宅 澄子 大野ナミ子 三浦八重子	筒井ヒサエ	831	211,100	○青少年の健全育成 ○消費生活の合理化 ○交通安全運動の推進
43	土居 千重	小倉 幸子 大野キクエ 玉泉 マスミ	篠浦 員子	831	223,086	○小部落活動の推進 ○健康づくり運動の推進 ○社会道徳の高揚

第47表

久万町婦人会支部長名簿

年度 支部	36	37	38	39	40	41	42	43
明 神	山之内千鶴子	山之内千鶴子	高門 芳子	鈴木 登代	金子 梅子	小倉 幸子	小倉 幸子	和田 文子
久 万	片岡 光子	大野 常子	黒田 蕪子	土居 千重	菅 敦子	安宅トメキ	土居ノリエ	土居 エイ
野 尻	宮崎 美寿	越智とみ子	八木 久江	東田タツミ	東田タツミ	東田タツミ	河野 秀子	秋本 梯子
榎 谷	山本マツ子	津島 定子	福住 君子	黒川ナツエ	黒川アヤ子	川井 定子	川井アヤ子	柳井トキコ
下畑野川	宮西トシ子	西山サツキ			日野 笑子	筒井ヒサ子	高橋ユリ子	日野ヨリ子
上畑野川	秋田タマ子	渡部フデ子	小倉 ヒデ	石丸ヒデ子	山内サカエ	小倉クニエ	船田サタミ	渡部アサ子
上直瀬	菅 イツ子	高岡シナ子	高岡シナ子	菅 八千代	高岡美和子	大野ヒサ子	高岡クニ子	大野キタエ
下直瀬	石崎トシ子	菅 マサ子	渡部ミユキ	松本スマ子	黒田 安枝	岡 清子	光田フサ子	光田キヨ子
二 名	成野 村子	西山テルミ	岡田 純江	西岡スミ子	日野佐智江	小田チヤ子	岡田 富子	成本シズノ
父野川	佐伯 雪子	石井美代子	玉泉 マスミ	尾崎千代菊	尾崎千代菊	黒田美咲子	玉泉マスミ	上岡ツヤ子
露 峰	坂本 房子	西口 敏子	白石カズミ	宮岡ササヨ	中岡 満子	桃枝 露子	井口キタミ	坂本 鈴子
落 谷	大野美恵子	泉 初子	三輪田八重子	上野チヨ子	大野美恵子	橋本ミサ子	宮崎ツネ子	山本 久子
永 徳	土居トシ子	寺岡ヨシミ	土居チズ子	(二名支部に 統合)				

9 P T A

昭和22年に在学児童、生徒の親と先生を会員として、P T Aは結成された。ところが、新しい6・3制に対する施設は、公費で間に合わず、貧困な戦後の自治体では教具・教材の予算さえ充分に組めない状態であったので、P T Aに援助を依存する分野が多くなり、必然的にP T Aにおいても財政的援助に重点が置かれ、学校後援会的性格が強まった。

しかしながら、昭和35年ころからようやくP T Aのあり方について反省の機運が高まり、社会教育団体として、会員の研修に重点が置かれるようになった。

久万町内のP T Aにおいても、各单位P T Aが中心になり、教育環境整備活動や会員の研修活動がだんだん活発化するようになった。

昭和38年7月、町内の単位P T Aが相互に連絡を深め、久万町全体の教育の向上をはかることを目的として、久万町P T A連絡会を組織した。毎年連絡会をもち、P T Aのあり方について検討し、久万町教育の振興についての話し合いがつつけられている。

第48表 町内P T A連絡会歴代会長一覧表

歴代	年 度	会 長 氏 名	副 会 長 氏 名
1	昭和38年度	西 岡 信 栄	大 野 直 長 東 田 敦 太 郎
2	39	石 丸 亨	東 田 敦 太 郎 西 岡 忠 義
3	40	東 田 敦 太 郎	西 岡 忠 義 大 野 卓
4	41	西 岡 忠 義	山 之 内 肇 日 野 朝 幸
5	42	日 野 朝 幸	加 藤 学 関 井 義 弘
6	43	加 藤 学	竹 内 友 長 大 野 俊 夫

0 愛護班

昭和37年ころ県下では青少年の非行化が急増をはじめ、さらに交通事故、水難事故も増加の傾向をたどりはじめた。この事態を1日も早く解消し、青少年の健全な育成をはかるために部落総ぐるみ活動が重視されるようになった。

つまり、すこやかに育成したいという親心が集まり、小部落単位で集団をつくり、子どもたちのしあわせをめざして実践活動を展開しようとするものである。この組織を愛護班と呼んでいる。昭和37年、郡P T Aでこの愛護班の第1回研修会を開き、その普及に努めた。

久万町においても、結成を推進し充実に努力したが、久万小学校・明神小学校下の1部の地区の結成をみただけであった。その後毎年研修会などが開かれたので、その性格も理解され、昭和40年ころからだんだんと盛り上りをみせるようになった。

昭和40年には、野尻愛護班が、同41年には明神愛護班が、それぞれ優良愛護班として県教育委員会より表彰された。

第49表 P T A 正副会長及び努力目標一覧表

(その1)

久万小学校 P T A

年 度	会 員 数	会 費	会 長	副 会 長	主な努力目標 及び行事	P T A の施設整備につ いての協力内容
34年度	732	月額 30円	森川源三郎	稲田 始 宮崎 美寿	会員の研修 非行防止対策 学校給食の充実	○テレビ一台寄贈
35年度	688	30円	全 上	八木修一郎 井部ツヤ子	会員の研修 非行防止対策 学校給食の充実	○特別寄付により剣道 防具10着購入
36年度	623	30円	八木修一郎	小倉 清澄 天野 文子	会員の研修 非行防止の対策 校舎新築の陳情	
37年度	619	30円	全 上	小倉 清澄 篠崎 光子	会員の研修 校外生活の指導 環境整備	○豪雪により校舎の雪 おろし
38年度	567	60円	東田教太郎	小倉 清澄 小倉 清香	会員の研修 愛護班活動の推進 校舎新築の陳情	○跳箱特別寄贈 ○アコーディオン2台寄贈 ○児童図書特別寄贈
39年度	549	60円	全 上	小倉 清澄 菅 敦子	会員の研修 愛護班活動の推進 校舎新築確実となる。	○観察池 } 特別寄贈 ○岩石園 } ○ P T A 全国表彰を受け る。
40年度	520	60円	全 上	正岡 豊 菅 敦子	会員の研修 愛護班活動の充実 (新校舎落成)	○設備、備品費として約 260万円の寄付を受け る。 ○植木移植その他奉仕作 業
41年度	487	年額 1,000円	全 上	正岡 豊 三宅 澄子	会員の研修 愛護班活動の充実 環境整備	○運動場へトラック 65台分の土入れ(延 200人役奉仕) (町予算10万 P T A より23万円)
42年度	410	年額 1,000円	全 上	正岡 豊 村上千代子	会員の研修 愛護班活動の充実 読書の推進	○学校図書寄贈
43年度	387	年額 1,000円	全 上	正岡 豊 出坂 照子	会員の研修(部活動 活動) 愛護班活動の充実 読書の推進	○学校図書寄贈

(その2)

明神小学校PTA

年度	会員数	会費 月額(円)	会長	副会長	主な努力目標 及び行事	PTAの施設整備 についての協力内容
34年度	201	40	棟田 満雄	川口 精市 高門 豊 西内 スミエ	○視聴覚教育設備の充実 ○給食施設整備の充実 ○運動場拡張奉仕作業 ×他校参観(丹原小・本小・日誌行事) ×母の日こともの日記念行事	テレビ3台特別寄付 (2,8550円) 学校図書 15862円 雨かき 11220円 給食器具(ミルクポット) 9800円
35年度	220	40	棟田 満雄	川口 精市 高門 豊 西内 スミエ	○視聴覚教育の充実 ○幼稚園教育の推進 ×運動場拡張奉仕作業 ×他校参観×母の日こともの日記念行事	学校図書 17000円 運動遊具 7000円 視聴覚 10000円 給食器具 8000円
36年度	189	40	大野 速雄	河内 精市 高門 豊 西内 スミエ	○幼稚園教育の推進 ○他校参観 ×母の日こともの日記念行事 ×幼稚園参観工事奉仕作業	学校図書 22750円 給食器具 9810円 消火器2本 5300円 視聴覚 3400円
37年度	200	40	高橋進治郎	正岡 侶則 石岡 晃 藤原トキエ	○学校図書館の充実 ×運動場整備及び草刈奉仕	学校図書 20000円 運動具 9940円 視聴覚 5000円 給食器具 1500
38年度	190	40	高橋進治郎	正岡 侶則 石岡 晃 藤原トキエ	○学校図書館の充実 ×運動場整備及び草刈奉仕 ×部落別懇談会(夜間3日間)	学校図書 26000円 運動遊具 10000円 視聴覚 5000円 給食器具 1500円
39年度	150	40	山之内 肇	和田 隆 森之本武雄 大野美矢子	○愛護班結成の推進 ×運動場整備と草刈奉仕 ×部落懇談会(夜日3日間)	学校図書 29930円
40年度	160	50	山之内 肇	正岡 侶則 森之本武雄 大野美矢子	○愛護班結成と活動推進 ○運動場の整備と草刈奉仕	学校図書 28590円
41年度	170	50	山之内 肇	正岡 侶則 森之本武雄 大野美矢子	○郷土館施設設備の充実 ○愛護班活動の推進 ×明神小学校50周年記念行事 ×運動場整備と草刈奉仕	学校図書 26700円 50周年記念による寄付、郷土室その他施設・設備・備品多数
42年度	159	60	山之内 肇	正岡 侶則 森之本武雄 大野美矢子	○愛護班活動の推進 ○家庭における父母の読書推進 ×奉仕作業(渡り廊下のコンクリート)	学校図書 24680円
43年度	140	80	正岡 侶則	棟田 昭一 和田 隆 宇都宮真代子	○非行防止と交通安全対策 ○家庭における父母の読書推進 ○国旗掲揚運動の徹底 ×奉仕作業(校舎のガラスふき、運動場の整備)	学校図書 21840円



(その3)

直瀬小学校PTA

年費	会員数	会費 月額	会長	副会長	主な努力目標 及び行事	PTAの施設整備 について 努力内容
34年度	240	20円	菅 万夫	大野 直長 大野キクエ	学校給食の推進 校外生活指導の徹底 内容設備の充実	テレビ購入(8万) 展示戸棚, ガリバン購入 かさ20本(2万)
35年度	232	20	菅 万夫	大野 直長 大野キクエ	校外生活指導の徹底 内容施設の充実 学校給食の徹底	特別になし
36年度	228	20	菅 万夫	大野 直長 大野キクエ	家庭教育の徹底 父母学級の育成 子ども会の育成	傘50本 ユニホーム(ソフト)
37年度	209	20	大野 直長	石崎 源蔵 菅 逸子	校外生活指導の徹底 健康教育活動 家庭環境の整備	ラジオ2台購入(1万余)
38年度	202	20	大野 直長	石崎 源蔵 菅 逸子	校外生活指導の徹底 健康教育の推進 家庭環境の整備	ブレイヤー等設備
39年度	191	20	大野 直長	石崎 源蔵 菅 逸子	校外生活指導の徹底 健康教育の推進 学校環境の整備	歴代校長写真作り(1万余) ラジオ2台購入(1万余)
40年度	180	40	大野 直長	石崎 源蔵 菅 逸子	校外生活指導の徹底 健康教育の推進 学校環境の整備	岩石園作り, 植木鉢購入 ユニホーム(ソフト)
41年度	177	40	高岡己年男	岡 藤夫 石丸ミツ子	校外生活指導の徹底 健康教育の推進 学校環境の整備	渡り廊下をコンクリートに する(2万) 座高計購入
42年度	154	60	高岡己年男	岡 藤夫 石丸ミツ子	校外生活指導の徹底 健康教育の推進 学校環境の整備	電気施設, 鉄棒, ブランコ を作る。(3万余) ユニホーム(陸上)
43年度	146	60	大野 俊男	光田 盛栄 大野 鶴栄	校外生活指導の徹底 健康教育の推進 学校環境の整備	つり環, 雲梯,

(その4)

父二峰小学校PTA

年 度	会 員 数	会 費  月額	会 長	副 会 長	主な努力目標 及び行事	PTAの施設整備に ついての協力内容
34年度	198	25円	田中 武雄	古田 実 中田みどり	・父母の親睦と 民主的な会の 運営	給食室完成内容充実費 (66000円)
35年度	181	25	田中 武雄	古田 実 中田みどり	・父母研修の拡 充と給食運営 の協力	
36年度	167	25	古田 実	片岡 信秋 谷口 房子 中田シゲ子	・父母の研修の 拡充 他校参観旅行	
37年度	140	35	古田 実	山田 茂見 大除フジ子 中田シゲ子	・父母の研修の 充実と読書推 進 ・他校参観	図書館陳列戸棚上岡民好氏 (50000円) 図書購入、脇田時政氏 (50000円) 卓球台(3台)西岡忠義氏
38年度	133	35	西岡 忠義	中田 文郎 河野ヒロ子 西口とし子	・愛護班活動の 充実 ・親子会	
39年度	112	50	西岡 忠義	中田 文郎 西口とし子 河野ヒロ子	・愛護班活動の 充実	
40年度	101	50	古田 実	中田 文郎 白石カズミ 上岡ツヤ子	・愛護班活動の 充実	ブランコ } PTA有志 低高鉄棒 } バックネット新設、中田重雄氏 (50000円)
41年度	99	50	西岡 忠義	古田 実 土居千津子 上岡ツヤ子	・愛護班活動の 充実 ・池、緑地帯新 設への協力	小中学校併設、脇田時政氏寄贈 (100000円)(体育館池築山、緑 地の新設(460000)時報チャイム の新設 オルガン7台(106000円)
42年度	88	50	西岡 忠義	中野 優 片岡 マキエ 土居千津子	・愛護班活動の 充実と父母ら の研修の充実	緑地帯完成
43年度	89	50	西岡 忠義	上岡 保 寺岡 安雄	・父母の研修の 充実と学校参 観日の出席促 進	うさぎ、鳥小屋新設

(その5)

二名小学校PTA

年 度	会 員 数	会 費	会 長	副 会 長	主 な 努 力 目 標 及 び 行 事	P T Aの施設整備に ついでの協力内容
34年度	109	月額 20円	竹内 友長	西村ヨシミ 杉岡ウメ 日野秀雄 青木照美	給食試食会 宮本七郎氏を迎えて P T A研修会開催	
35年度	108	20	竹内 友長	日野秀雄 青木照美 杉岡ウメ 西村ヨシミ	備品整備についての P T A総会, 役員合 同会	テレビ施設 ピアノ1台施設
36年度	97	35	竹内 友長	日野秀雄 青木照美 稲田雄子 川崎ヨシ子	P T A役員北条保育 所視察, P T A研修 会講師村上芳夫) P T A合同研修旅行 (先進校)	
37年度	95	35	日野 秀雄	稲田昇 成野沙 岩田公 西山テル子	P T A研修旅行 (伊予小, 自衛隊)	楽器 (52800円) 図書の実 (49520円)
38年度	90	35	日野 秀雄	和泉司人 成野村子	愛護班の充実育成・ P T A研修旅行(雄 郡小, 清水小)父兄 参観日	
39年度	85	50	日野 秀雄	和泉司人 石田静男 成野村子 川崎ヨシ子	青婦, P, 合同役員 会, 親子読書の推進	学習発表用幕(21,600円) 鼓笛隊用楽器充実 (28,320円)
40年度	79	50	日野 秀雄	和泉司人 土居康男 成野野子 竹内キイ	参観日の出席向上 家庭学習の奨励	
41年度	73	50	日野 秀雄	土居康男 和泉司人 清水ツタ子 竹内キイ	愛護班活動の推進 施設, 設備の充実 登下校の安全指導	剣道具18着分その他 (166000円) 音楽用ステレオ1台 (60000円)
42年度	70	50	関井 義弘	和泉司人 福永千代重 土居静江 石田利子	健康な家庭作り, 不 良化水難, 事故防止 家庭教育のあり方 愛護班活動の充実化	雨傘80本 (27000円)
43年度	65	50	関井 義弘	和泉司人 福永千代重 土居静江 神西八重子	学級P T A活動の充 実, 父親学級, 母親 学級の拡充を図る, 愛護班の話し合いに よる家庭教育の充実 をはかる親子読書の 推進交通事故防止	サーキット・トレーニング器具 (200000円)

(その6)

畑野川小・中学校 P T A

年 度	会 員 数	会 費	会 長	副 会 長	主  な  努  力  目  標 及  び  行  事	P T A の 施 設 整 備 に つ  い て の 働 力 内 容
34年度	365	人月額 30円	日野 統	小倉 清春 渡部アヤ子	P T A の 組 織 強 化 郡 P T A 研 究 大 会	給食室内容設備 水道施設 本館改築
35年度	355	30	日野 統	小倉 清春 渡部アヤ子	P T A 活 動 の 充 実 研 修 旅 行	
36年度	350	30	石丸 亨	渡部 新雄 渡部アヤ子	P T A 活 動 の 充 実 研 修 旅 行	
37年度	340	30	石丸 亨	渡部 新雄 渡部アヤ子	子 供 の 事 故 防 止 研 修 旅 行 懇 談 会	
38年度	280	50	石丸 亨	渡部 新雄 渡部アヤ子	親 子 会 , 子 供 会 の 育 成	国 旗 掲 揚 台 南 運 動 場 の 土 入 入
39年度	261	50	石丸 亨	渡部 新雄 渡部アヤ子	親 子 会 , 子 供 会 の 充 実 発 展 研 修 旅 行 , 講 演 会	
40年度	248	60	日野 朝幸	渡部 一夫 西村 銀子	愛 護 班 の 結 成 学 校 環 境 の 美 化 整 備 遊 具 , プ ラ ス バ ン ド 楽 器 購 入 講 演 会 , 研 修 旅 行 植 樹 祭	砂 場 新 設 , 校 庭 植 物 園 , 岩 石 園 の 造 成 遊 具 , プ ラ ス バ ン ド 楽 器 購 入
41年度	235	60	日野 朝幸	渡部 一夫 西村 銀子	教 育 設 備 の 充 実 強 化 , 愛 護 班 活 動 の 充 実 , 研 修 旅 行 , 講 演 会 , 部 落 懇 談 会	体 育 館 新 築 内 容 設 備
42年度	224	80	日野 朝幸	渡部 一夫 日野 笑子	学 級 P T A の 活 動 強 化 , 親 子 2 0 分 間 読 書 の 推 進 , 研 修 旅 行 , 講 演 会 , 部 落 懇 談 会	北 運 動 場 植 樹 台 地 造 成
43年度	212	100	日野 朝幸	渡部 一夫 日野 笑子	愛 護 班 活 動 の 連 絡 提 携 会 員 相 互 研 修 愛 護 研 究 実 績 発 表 会 研 修 旅 行 講 演 会	

(その7)

久万中学校 P T A

年 度	会 員 数	会 費	会 長	副 会 長	主 な 努 力 目 標 及 び 行 事	P T A の 施 設 整 備 に つ い て の 協 力 内 容
34年度	480	年額 300円	神野 黄雄	岡村 隆次 露口 久 中岡トク子	・会員研修・体育の 振興・青少年の健 全育成・映画会	・運動場土入れ ・学校図書
35年度	551	300	〃	岡村 隆次 小倉 貫 西田 光子	・学校完全給食の推 進 ・環境整備、下刈り ・他校参観 ・映画会	・学校図書 ・楽器 ・運動場土入れ
36年度	550	300	〃	山内 重雄 河野 修 安部ソルエ	・愛護班活動の推進 ・会員研修の強化 ・下刈り・他校参観 ・部落懇談会	・校庭(10万)・自転車 置場・楽器・運動場土入 れ ・生徒図書
37年度	545	360	〃	重藤 好松 河野 修 安部ソルエ	・生徒の交通安全指導 ・会員研修・環境整備 ・講演会・他校参観 岡田中	・剣道一式(8万) ・楽懸 ・自転車置場 ・生徒図書
38年度	551	360	河野 修	金子佐々雄 西森 勲 井部 艶子	・会員研修の充実 ・青少年の健全育成 ・講演会 ・他校参観 北温中	・校長住宅でんわ・楽器 ・自動印刷機 ・雨がさ・ごみ焼却炉 ・生徒図書
39年度	520	360	〃	金子佐々雄 西森 勲 篠崎 光子	・愛護班活動の推進 ・社会道徳の昂揚 ・講演会・参加日の 充実・他校参観 久谷中	・渡りろうか雪がこい ・楽器・撮影機・映写機 ・雨がさ・謄写フロッ クス・英文タイプ
40年度	506	360	〃	金子佐々雄 西味 勲 水地 禎子	・会員研修の強化 ・青少年の健全育成 ・講演会 ・他校参観	・生徒図書・鉄棒 ・卓球台・楽器 ・運動場土入れ
41年度	495	360	小倉 清澄	金子佐々雄 中岡 武雄 水地 禎子	・家庭教育の充実・他 校参観・青少年の健 全育成・父親参観 ・環境整備の奉仕	・生徒図書・バスケット台 ・サッカーゴール ・コンクリート渡りろうか ・運動場土入れ
42年度	440	420	〃	菅 留八 加藤 学 中里 季子	・青少年の健全育成と 教育環境の整備・環 境整備の努力奉仕 ・他校参観・講演会	・サッカートレーニング施設 (約40万の半額)・便 所土間の整備・岩石園 ・砂場・運動場土入れ ・生徒図書
43年度	391	660	加藤 学	菅 留八 大野 速雄 上沖千代亀	・会員研修の充実・講 演会・社会道徳の昂 揚・環境整備・他校 参観 港南中 ・プール募金	・プール付属設備 ・足洗場・保健室内部設備 ・校門付近路面舗装 ・生徒図書

(その8)

直瀬中学校 P T A

年 度	会 員 数	会 費	会 長	副 会 長	主  な  努  力  目  標 及  び  行  事	P T A の 施 設 整 備 へ つ  い  て の 協 力 内 容
34年度	145	月額 20円	梅木寛次郎	石崎 喜一 菅 タツ	頃主小中視察	国旗掲揚台寄贈 (大野 卓)
35年度	172	20	梅木寛次郎	石崎 喜一 宮崎シズ子		理科教材用池新設
36年度	193	20	梅木寛次郎	石崎 喜一 宮崎シズ子		鑑賞用池寄贈 (大野 芳一)
37年度	202	20	梅木寛次郎	石崎 喜一 木山 郁重 宮崎シズ子	除雪作業	校旗寄贈 (小椋節三郎)
38年度	209	20	梅木寛次郎	石崎 喜一 木山 郁重 宮崎シズ子		ステレオ寄贈 (石丸 正助)
39年度	204	30	大野 卓	山内 茂一 大野 春子	愛護班活動の充実	花びん寄贈 (梅木寛次郎) 時計寄贈 (石丸喜三郎)
40年度	189	60	大野 卓	山内 茂一 大野 春子	愛護班活動の充実	国旗掲揚台寄贈 (小椋 陽介)
41年度	173	75	大野道太郎	山内 茂一 大野 春子	愛護班活動の充実	体育館設備充実
42年度	162	75	大野道太郎	山内 茂一 大野 春子	教育環境の整備	校門寄贈 (曾我 定之)
43年度	155	75	長山 哲三	菅 万太郎 宮崎ミサエ	教育環境の整備	

父二峰中学校PTA

(その9)

年 度	会 員 数	会 費	会 長	副 会 長	主 な 努 力 目 標 及 び 行 事	P T A の 施 設 整 備 関 係 について の 協 力 内 容
34年度	170	年額 170×10×12 2,040.0	高岡 信栄	脇田 勤 大野みち子 西村よしみ	会員相互の研修 生徒の体位向上	給食の完全実施 団体電設の設置
35年度	195	195×15×12 35,100.0	〃	上岡 照雄 大野みち子 西村よしみ	会員相互の研修 施設設備の拡充 学校教育への協力	テレビ設置
36年度	251	251×20×12 60,240.0	〃	上岡 照雄 大野みち子 西村よしみ	体育館建設促進 会員相互の研修 学校教育への協力	
37年度	233	233×20×12 55,920.0	〃	田中 武雄 大野みち子 西村よしみ	体育館建設促進 会員相互の研修 学校教育への協力	図書充実 校旗寄贈
38年度	221	221×40×12 106,080.0	〃	田中 武雄 楯田かつ子 脇田はるえ	体育館建設促進 愛護会の結成 給水施設の完備	水道施設 特別教室の建設
39年度	175	175×50×12 105,000.0	〃	古田 実 岡田 時子 脇田はるえ	〇体育館建設促進 愛護会の結成	体育館建設
40年度	163	163×50×12 97,800.0	西岡 忠義	古田 実 日野 秀雄 中田みどり 中岡 秋子	〇体育館施設設備 の充実	体育館建設および施設 設備の充実
41年度	142	142×50×12 85,200.0	中田 重雄	西岡 忠義 日野 秀雄 成野 村子 白石カズミ	〇校門、緑地帯の 造成	校門および緑地帯の完 成
42年度	156	136×50×12 81,850.0	中田 重雄	西岡 忠義 関井 義弘 成野 村子 白石カズミ		
43年度	127	127×50×12 74,400.0	竹内 友長	西岡 忠義 関井 義弘 白石一三 成野 村子		

### 3. 教育委員会

終戦による戦時教育体制の廃止後、文部省は教育委員会制度に、諸種の改善をなしてきた。国、都道府県、市町村を一体とした教育行政制度が確立されて、教育委員の選任も公選制から任命制に改められ、一般行政と教育行政の調整がはかられ、現在の新教育委員会制度が昭和31年10月1日から全面的に発足した。こうして昭和31年10月1日から新しい教育委員会制度のなかにあった、旧久万町・川瀬村・父二峰村が昭和34年3月31日町村の合併をすることになり、これと併行して教育委員会にも町村合併後の新しい教育委員が任命されて、新久万町としての教育委員会が発足することになった。

この合併後の久万町では、旧町村の地域的、人的に配慮した教育委員の選任がなされて、昭和34年5月26日付で、久万町長から次の新しい教育委員が任命され新しい久万町の教育委員会が発足した。

教 育 委 員 名

久万町地区	小倉 総一郎	任期4年
川瀬地区 (畑野川)	高 譲	任期4年
父二峰地区	上高 民好	任期3年
川瀬地区 (道瀬)	菅 薫明	任期2年
明神地区	大野 速雄	任期1年

このうち委員長には菅薫明が選ばれ、また教育長には小倉総一郎が就任した。

こうして合併後の初めての教育委員ができて、久万町の学校教育、社会教育の振興、施設設備の充実に努力が払われて、久万町の教育を飛躍的に進展させる基礎作りがなされた。

今日のような久万町すなわち教育の

町が合併後10年間にわたってつくられていったのである。

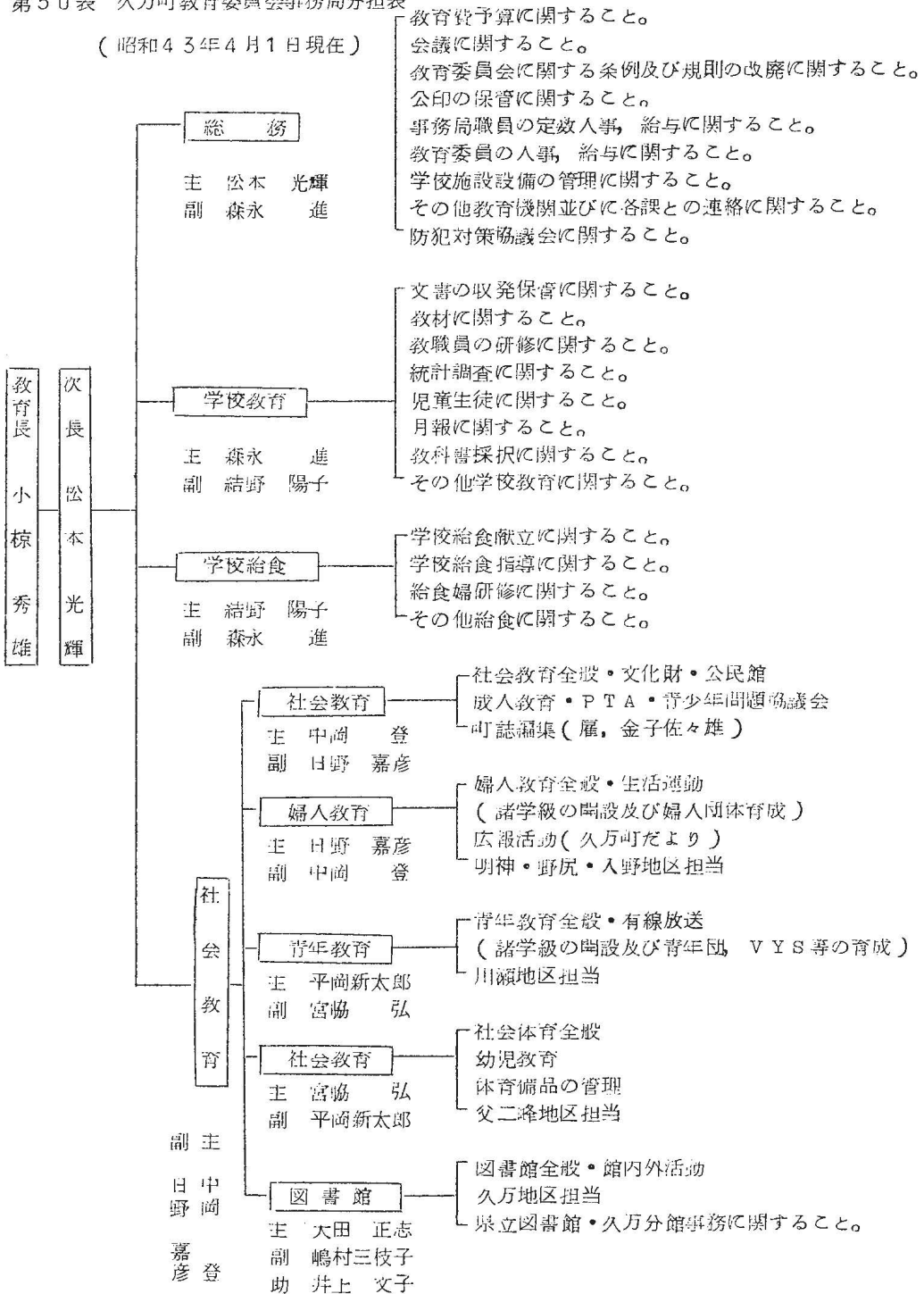
久万町教育委員会の基本的努力目標は次のとおりである。

- 教育の尊重と教師の自覚
- 地域の実態に立ち、近代化に即応する教育
- 人的、物的教育諸条件の整備
- 学校教育、社会教育、家庭教育の一体化
- 全町的立場に立って政治、経済、教育各機関の連絡を密にする。



第50表 久万町教育委員会事務局分担表

(昭和43年4月1日現在)



第51表

町村合併後の教育費予算調べ

昭和34年度		昭和35年度		昭和36年度	
費目	金額	費目	金額	費目	金額
教育費	18015200	教育費	22461697	教育費	31,346,750
教育委員会費	1725300	教育委員会費	2146720	教育委員会費	2435350
小学校費	6851300	小学校費	7,231,170	小学校費	8,372,500
中学校費	4810500	中学校費	8,038,680	中学校費	13,232,900
定時制高等 学校費	424,400	定時制高等 学校費	395,500	定時制高等 学校費	232,400
社会教育費 中央公民館	4,203,700	社会教育費 中央公民館	4,264,900	社会教育費 中央公民館	6,555,700
		幼稚園費	384,727	幼稚園費	51,7900
小学校給食器購入費 1,130,000		給食室建築費 1,835,000		二名小水道工事費 350,000	
中学校産業振興法による 充実費 300,000		明神小、二名小給食設備 購入費 230,000		久万小南校舎補修費 330,000	
社会教育映写機購入費 120,000		父二中塗装工事費 200,000		久万小校舎塗装工事費 300,000	
		畑中理振法による充実費 400,000		直小屋根修理費 200,000	
				久万中畑中増築工事費 606,700	
				畑中、久万中、父二中教室改 造費 1,210,000	
				露森幼児学級修繕工事費 149,000	
				明神幼児学級建設費 1,532,000	

昭和37年度		昭和38年度		昭和39年度	
費目	金額	費目	金額	費目	金額
教育費	28,787,164	教育費	41,586,991	教育費	43,905,000
教育委員会費	2,635,860	教育委員会費	3,171,765	教育委員会費	3,621,000
小学校費	9,368,154	小学校費	10,875,795	小学校費	7,812,000
中学校費	10,469,450	中学校費	20,193,107	中学校費	18,329,000
幼稚園費	730,890	幼稚園費	918,346	幼稚園費	1,051,000
社会教育費 (中央公民館)	4,849,010	社会教育費	909,000	社会教育費	2,894,000
有線放送	150,000	幼児学級費	1,280,400	幼児学級費	1,486,000
文化財	205,000	公民館費	4,238,578	公民館費	4,974,000
諸費	5,633,000			図書館費	1,920,000
				保健体育費	3,546,000
久万中学校舎常繕塗装 600,000		榎谷分校給食備品購入 410,000		羽神小塗装工事 400,000	
久万中特別教室整備 300,000		畑小理科室明小校舎補繕工事 100,000		父二小理科室玄関改修工事 105,000	
直中技術家庭整備 800,000		父二小給水タンク増設工事 644,000		久万中特別教室改修工事 300,000	
久万中特別教室改増築 280,000		中学特別教室改築工事 564,000		下直瀬公民館修繕工事 120,000	
畑中屋根修理費 300,000		久万・父二中産振法 600,000		下畑野川公民館移築工事 3,102,000	
		父二中校舎敷地工事 500,000		父二中体育館建築費 10,875,000	
		直中体育館新築工事 9,000,000			

昭和40年度		昭和41年度	
費目	金額	費目	金額
教育費	65884000	教育費	56244000
教育委員会費	3524000	教育委員会費	4131000
小学校費	42268000	小学校費	28442000
中学校費	8035000	中学校費	10,670000
幼稚園費	1317000	幼稚園費	1,488000
社会教育費	3,667000	社会教育費	3,340000
幼児教育費	1,103,000	幼児学級費	476000
公民館費	1515000	公民館費	1,995000
図書館費	229000	図書館費	308000
保健体育費	4226000	保健体育費	5,394000
畑小外棚工事	200000	久万小給食整備費	600000
畑小校舎修繕工事	150000	父二小給食室整備費	250000
久万小特殊学級設備費	140000	二名小講堂移築工事	810000
父二中校舎修繕工事	397000	久万小講堂移築工事	3,500000
久万中屋根修繕工事	150000	明神小排水工事	200000
直中ペンキ塗装工事	100000	横谷分校ペンキ塗装工事	170000
畑中水道工事	225000	畑小渡りろうか工事	100000
直中排水工事	80000	直小簡易水道工事	82000
久万幼稚園物置建築工事	63000	父二小理振法	300000
久万小校舎建築費	33,705000	久万・明神小 謄写フックス購入	220000
		久万中理科室整備費	600000
		直瀬・父二峰中渡りろうか工事	1,560000
		直中北校舎ペンキ塗装工事	350000
		久万・畑野川・父二峰中 謄写フックス購入	300000
		父二峰中用水池修理費	230000
		上直瀬公民館修繕費	350000
		畑小体育館新築工事	13,110000

昭和42年度		昭和43年度	
費目	金額	費目	金額
教育費	62,627,000	教育費	62,195,000
教育委員会費	557,200	教育委員会費	645,000
小学校費	14,526,000	小学校費	21,949,000
中学校費	22,478,000	中学校費	25,533,000
幼稚園費	1,755,000	幼稚園費	1,898,000
社会教育費	883,000	社会教育費	3,943,000
幼児学級費	(本年より児童福祉 費に入れる) 一	幼児学級費	一
公民館費	2,127,000	公民館費	2,110,000
図書館費	599,000	図書館費	677,000
保健体育費	674,000	保健体育費	6,635,000
久万小倉庫建設費	1,200,000	昭和43年9月3日現在における予算 額	
明神小理科室整備費	400,000	久万小運動場金網工事	300,000
畑小	600,000	明神小講堂その他螢光灯工事	200,000
直小運動場整備費	450,000	畑小倉庫建設工事	600,000
父二小図書・音楽室整備費	250,000	直小理科室整備費	500,000
二名小ペンキ塗装工事	300,000	父二小理科室整備費	500,000
久万小プールポンプ修理工事	125,000	久万中住宅前田整地費	300,000
久万小楨谷分校簡易プール工事	180,000	畑中運動場金網工事	300,000
畑中水道修理工事	115,000	直中運動場金網工事	400,000
明神小理振法	200,000	父二中屋根修理工事	600,000
直小中台風による屋根修理	230,000	二名小校舎取り除き工事	150,000
久万中調理室整備費	800,000	明神小プール塗装工事	65,000
畑中理科室整備費	450,000	二名小理振法	254,000
直中体育倉庫建設工事	600,000	畑中理振法	300,000
父二中ペンキ塗装工事	800,000	二名小プール建設費	70,600,000
畑中通学路改修工事	60,000	久万中プール建設費	13,870,000
畑中屋根修理工事	300,000		
久万中自動車置場工事	350,000		
久万公民館土間コンクリート工事	150,000		
上畑野川公民館建設工事	3,900,000		
上野尻集会所建設工事	1,400,000		
直中プール建設工事	10,790,000		

合併後の教育委員名簿

就職年月日	退職年月日	略 歴	摘 要	住 所	氏 名
昭34. 5.26	昭38. 4.20	自昭34. 6. 8 至38. 4.20 教育長	4 年 委 員	久万町	小倉 総一郎
昭34. 5.26	昭35. 5.25		1 年 期 委 員 了	東明神	大野 速雄
昭34. 5.26	昭38. 5.25		4 年 期 委 員 了	下畑野川	岡 謙
昭34. 5.26	昭35. 3.29	自昭34. 5.30 至35. 3.29 委員長	2 年 委 員 ( 死 亡 )	直 瀬	菅 薫明
昭34. 5.26	昭37. 5.25		3 年 期 委 員 了	父野川	上岡 民好
昭35. 7.23	昭36. 5.25		菅薫明残任期間 任 期 満 了	直 瀬	福山 柳一
昭35. 7.23	昭39. 7.22	自昭35. 7.29 至39. 6.28 委員長	任 期 満 了	菅 生	相原佐加雄
昭36. 6. 1	昭39. 6. 5		辞 任	直 瀬	福山 柳一
昭37. 5.26	昭38. 4.23		辞 任	露 峰	恩地 義一
昭38. 5.26	昭41. 1.30	自昭38. 6. 5 至41. 1.30 教育長	( 死 亡 )	久万町	小倉 総一郎
昭38. 5.26	昭42. 5.25	自昭41. 6. 1 至42. 5.25 委員長	任 期 満 了	上畑野川	小倉 清
昭38. 5.26	昭41. 5.25	自昭39. 6.29 至41. 5.25 委員長	任 期 満 了	二 名	竹井 薫
昭39. 6.17	昭40. 5.31		福山柳一残任期間 任 期 満 了	直 瀬	大野 謙太郎
昭39. 6.17			昭43.6.25(再任) 現 職	東明神	石田ハマコ
昭40. 6. 1			現 職	直 瀬	大野 卓
昭41. 5.10			現 職	二 名	竹内 友長
昭41. 4. 9		自昭41. 4.11 教育長 至42. 5.31 教育長 自昭42. 6. 1 教育長	小倉総一郎残任期間 現 職	久万町	小 涼 秀雄
昭42. 6. 1		自昭42. 6. 1 委員長 ( 再任 )	現 職	上畑野川	小倉 清

合併後の事務局職員名簿

職名	氏名	就任年月日	退任年月日
教 育 長	小 倉 総 一 郎	昭34. 3. 31 (旧久万町から)	昭41. 1. 30 ( 死 亡 )
総 務 係 ( 学 校 教 育 )	日 之 西 歳 三 郎	昭34. 3. 31 ( 川 瀬 村 から )	昭42. 5. 31 ( 町 立 病 院 へ )
社 会 教 育 主 事	渡 部 鬼 子 雄	昭34. 3. 31 ( 川 瀬 村 から )	昭37. 4. 16 ( 役 場 へ )
公 民 館 主 事	山 口 伊 佐 雄	昭34. 3. 31 ( 旧 久 万 町 から )	昭38. 7. 1 ( 役 場 へ )
〃	山 之 内 栄 一	昭34. 3. 31 ( 川 瀬 村 から )	昭35. 12. 31 ( 退 職 )
〃	平 岡 新 太 郎	昭34. 3. 31 ( 川 瀬 村 から ) 昭38. 7. 1 ( 役 場 から )	昭37. 4. 16 ( 役 場 へ ) 現 職
〃	小 倉 貴	昭34. 7. 1 ( 旧 久 万 町 )	昭40. 6. 30 ( 退 職 )
〃	田 中 武 雄	昭34. 7. 1 ( 父 二 峰 村 から )	昭34. 12. 15 ( 退 職 )
社 会 教 育 主 事	中 岡 登	昭34. 12. 6 ( 就 職 )	現 職
学 校 教 育	湯 浅 賀 代 子	昭34. 6. 1 ( 就 職 )	昭35. 3. 31 ( 退 職 )
〃	田 坂 ヒ ト ミ	昭35. 5. 10 ( 就 職 )	昭35. 7. 30 ( 退 職 )
栄 養 士	鈴 木 玲 子	昭35. 4. 12 ( 就 職 )	昭36. 3. 31 ( 退 職 )
学 校 教 育	白 川 隆 子	昭35. 9. 1 ( 就 職 )	昭37. 4. 1 ( 退 職 )
社 会 教 育 主 事	玉 水 寿 帯	昭36. 2. 1 ( 就 職 )	昭38. 6. 30 ( 役 場 へ )
学 校 教 育	乃 万 広 子	昭37. 3. 1 ( 就 職 )	昭37. 12. 31 ( 退 職 )
公 民 館 主 事	宮 脇 弘	昭37. 4. 15 ( 就 職 )	現 職
〃	浅 井 一 郎 治	昭37. 4. 16 ( 役 場 から )	昭38. 7. 1 ( 役 場 へ )

職 名	氏 名	就任年月日	退任年月日
学 校 教 育	中 島 行 美	昭38. 2. 1 ( 就 職 )	昭40. 3. 31 ( 退 職 )
公 民 館 主 事	日 野 嘉 彦	昭38. 7. 1 ( 役 場 从 )	現 職
学 校 教 育	窪 田 百 合 子	昭40. 4. 1 ( 就 職 )	昭41. 6. 1 ( 役 場 へ )
〃	森 永 進	昭41. 4. 1 ( 久 万 中 从 )	現 職
図 書 館 長 副 公 民 館 長	大 田 正 志	昭38. 7. 1 ( 就 職 )	現 職
図 書 館 係	有 馬 提 子	昭34. 3. 31 ( 旧 久 万 从 )	昭39. 1. 25 ( 役 場 へ )
図 書 館 使 丁	門 サ カ エ	昭34. 3. 31 ( 旧 久 万 从 )	昭36. 5. 31 ( 退 職 )
〃	井 上 文 子	昭36. 6. 1 ( 就 職 )	現 職
図 書 館 ( 臨 時 雇 )	嶋 村 三 枝 子	昭41. 9. 1 ( 就 職 )	
教 育 長	小 椋 秀 雄	昭41. 4. 1 ( 就 職 )	現 職
次 長	松 本 光 輝	昭42. 6. 1 ( 役 場 从 )	現 職
栄 養 士	結 野 陽 子	昭41. 4. 1 ( 就 職 )	現 職